

知床の環境保全に関するアンケート結果

I. 全体調査／ウトロ

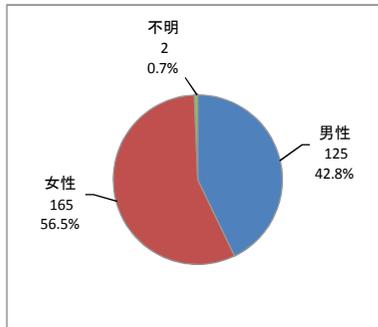
1. 調査概要

知床世界遺産センターおよび知床自然センターを訪れた方を対象に、調査票を手渡しで配布し、後日郵送により回収した。配布・回収状況については以下のとおりである。

配布日	ヒグマ活動期	植生保護期	計
	H23/7/25(月)、7/28(木) ～31(日)の5日間	H23/8/2(火)～6(土)、 8/8(月)の6日間	
配布数	413 通	274 通	687 通
有効回収数	165 通	127 通	292 通 (N)
有効回収率	40.0%	46.4%	42.5%

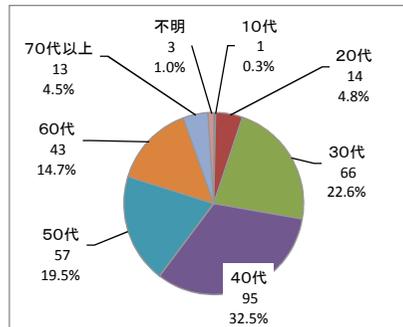
2. 回答者属性

①性別 (N=292)

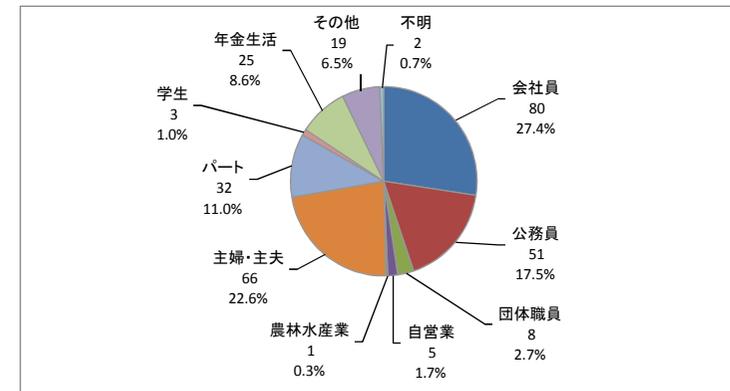


- ・ 男女別では、女性が多くなっている。
- ・ 年齢別では、40代が最も多く3割以上を占めている。次いで、30代、50代、60代となっている。

②年齢 (N=292)

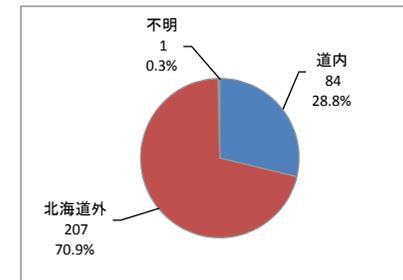


③職業 (N=292)

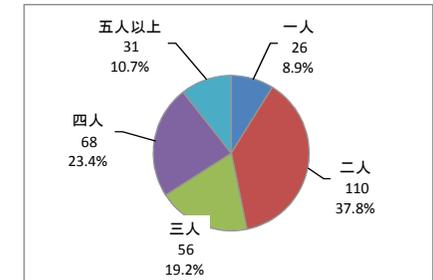


- ・ 職業別では、会社員、主婦・主夫で全体の半数を占めている。

④居住地 (N=292)

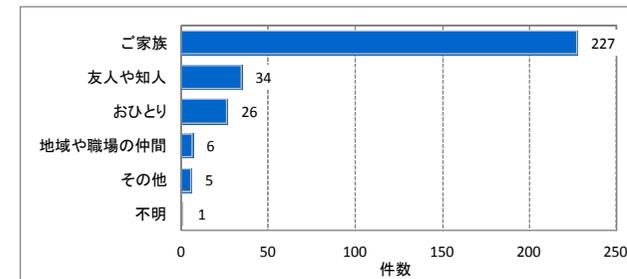


⑤同行人数 (N=292)



- ・ 居住地別では、道外が全体の7割を占めており、道外利用者が目立っている。
- ・ 一組当たりの人数については、二人が最も多く4割近くを占めている。次いで、四人、三人となっている。

⑥同行グループ (N=292、複数回答)

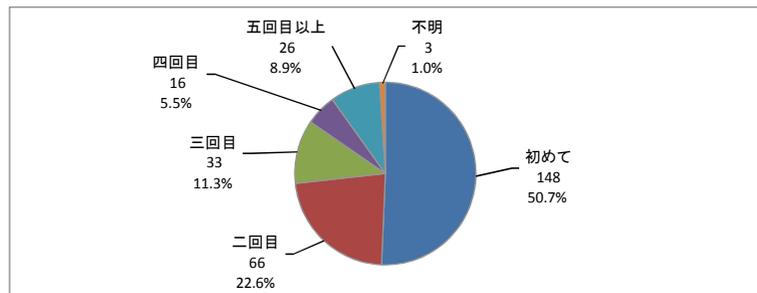


- ・ グループについては、家族が最も多く際立っている。

3. 単純集計結果

①知床に何回訪問したことがあるか。(N=292)

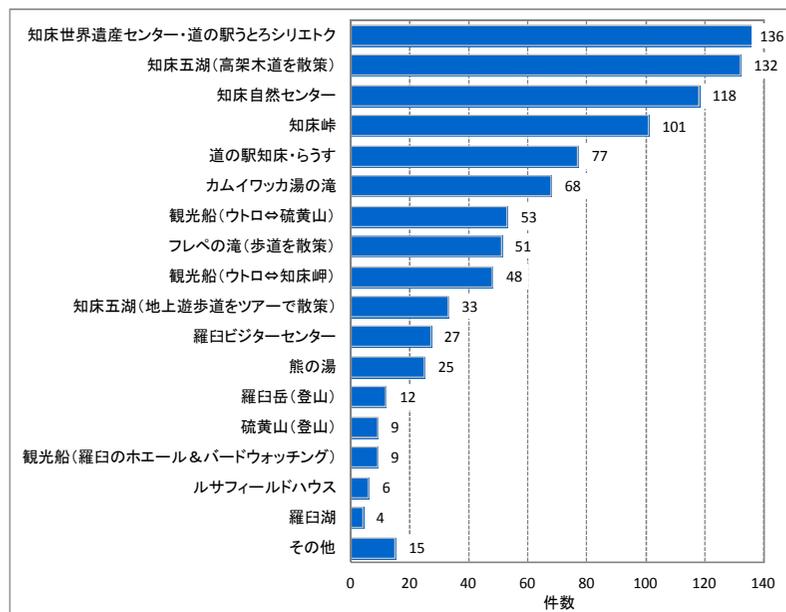
- 知床への訪問回数については、初めての訪問者が最も多く全体の半数を占め、二回目のリピーターも2割以上みられる。



②今回の訪問で知床のどこを訪れたか。

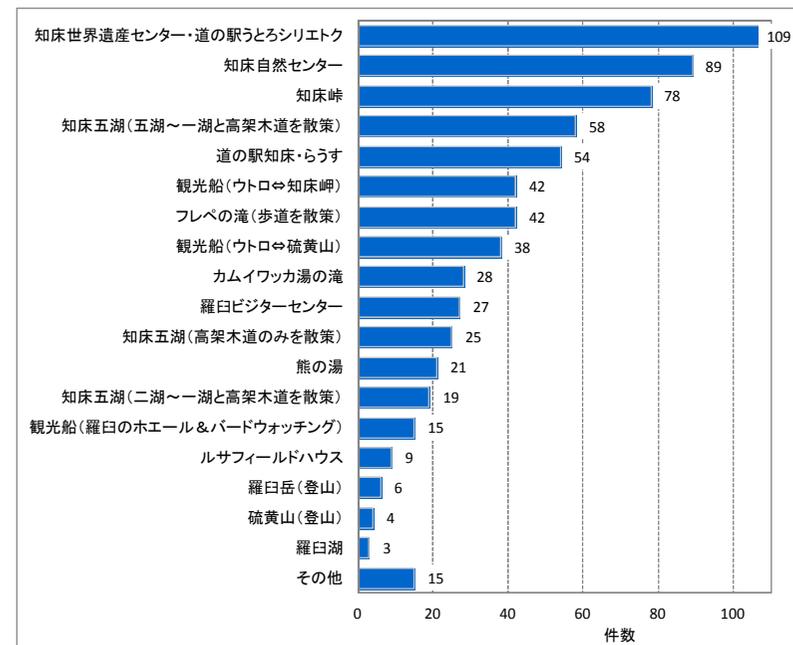
(ヒグマ活動期、n=165、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れた知床世界遺産センター・道の駅うとろシリエトク以外の具体的な場所については、ほぼ同数で知床五湖を挙げており、次いで、知床自然センター、知床峠、道の駅知床・らうす、カムイワッカ湯の滝と続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。
- その他については、「オシニコシンの滝」などが挙げられている。



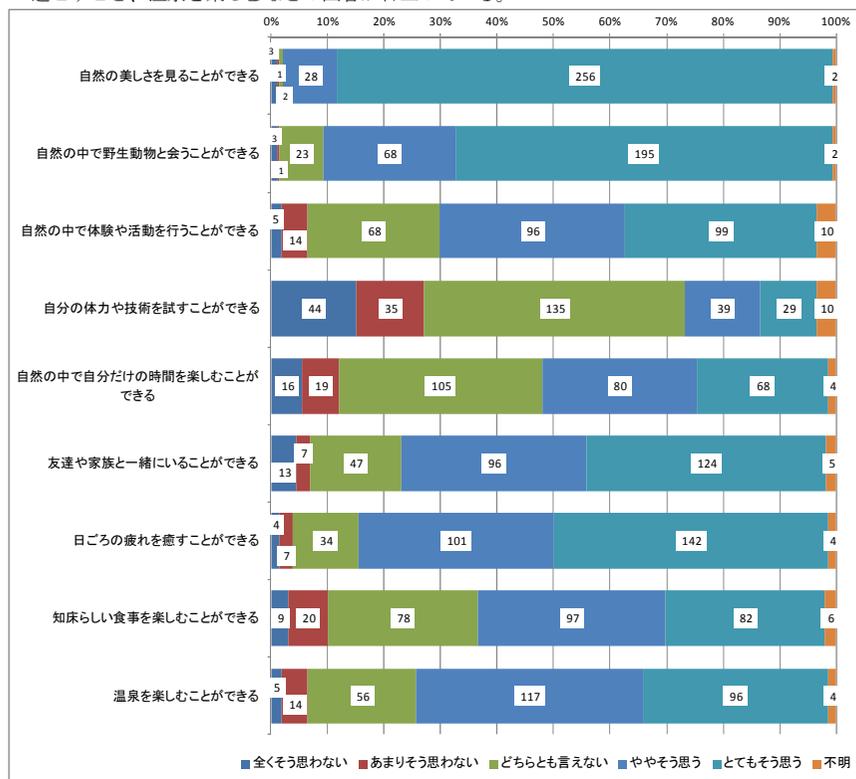
(植生保護期、n=127、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れた知床世界遺産センター・道の駅うとろシリエトク以外の具体的な場所については、知床自然センターが最も多く、次いで、知床峠、知床五湖、道の駅知床・らうすと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。
- その他については、「オシニコシンの滝」「知床岬」などが挙げられている。



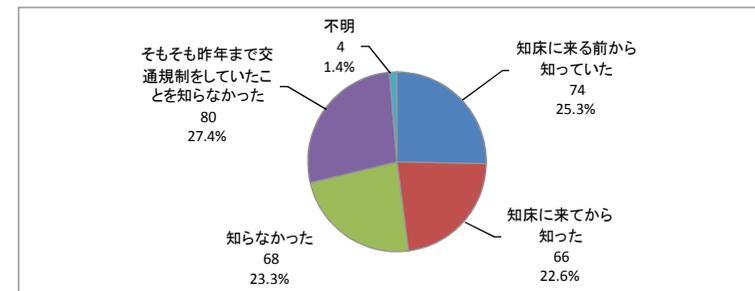
③知床への訪問動機について当てはまるものはどれか。(それぞれN=292、グラフ内の数字は件数)

- 知床への訪問動機については、自然の美しさを見ることを期待した回答が最も多くみられ、次いで、野生動物との出会い、日ごろの疲れの癒し、自然の中での体験や活動、友人や家族と一緒に過ごすこと、温泉を楽しむなどの回答が目立っている。



④今年からカムイワッカ湯の滝へ自家用車などで行けるようになったことを知っていたか。(N=292)

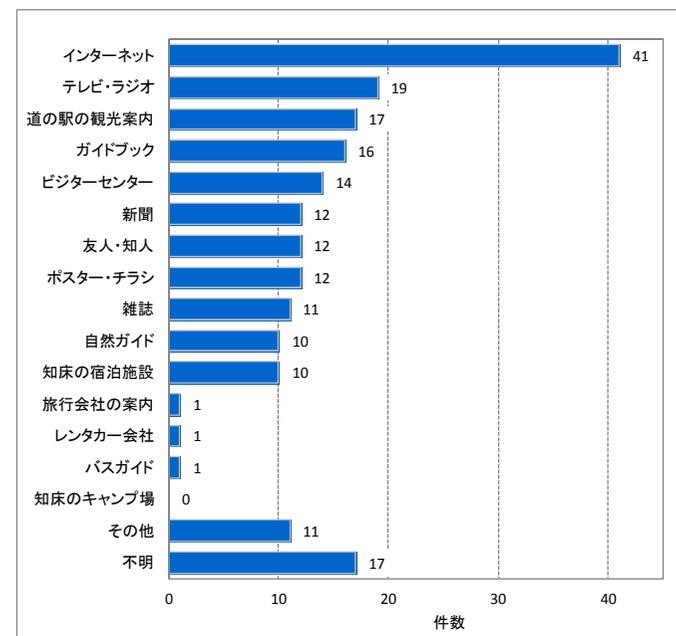
- カムイワッカ湯の滝に自家用車などで行けるようになったことを知っていたかを尋ねたところ、「昨年まで交通規制をしていたことを知らなかった」「知床に来る前から知っていた」「知らなかった」「知床に来てから知った」ともほぼ同じ割合を占めている。



④で「知床に来る前から知っていた」「知床に来てから知った」と回答した方について

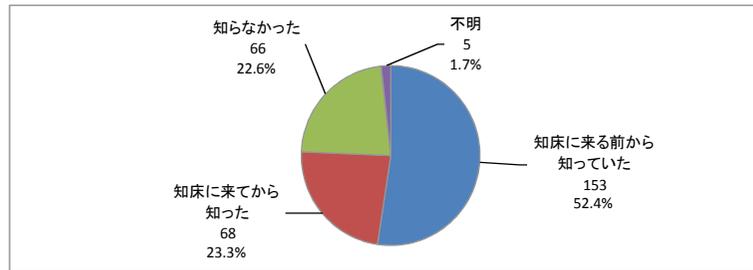
⑤カムイワッカ湯の滝全般や車両規制に関する情報をどこで知ったか。(n=140、複数回答)

- カムイワッカ湯の滝に関する情報をどこで知ったかを尋ねたところ、インターネットが最も多く際立っている。
- その他については、「観光船内の放送」「交通案内、看板等」などが挙げられている。



⑥知床五湖の新たな取り組みのことを知っていたか。(N=292)

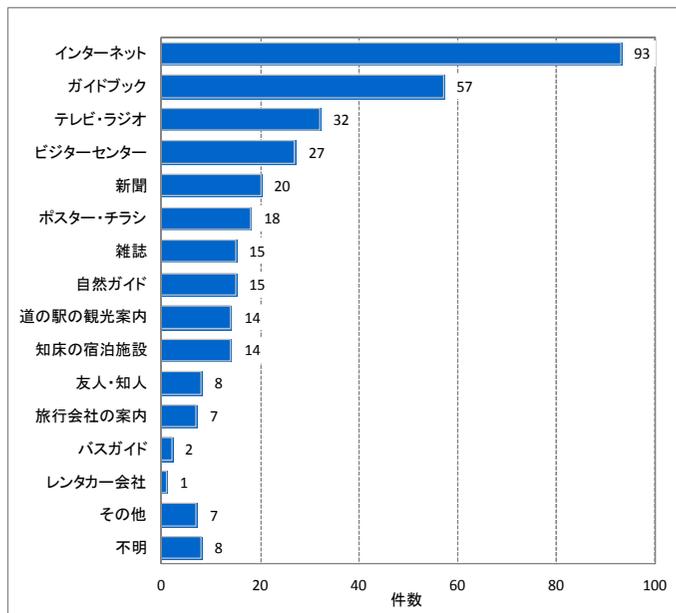
- 知床五湖の新たな取り組みのことを知っていたかを尋ねたところ、「知床に来る前から知っていた」が最も多く半数以上を占めている。



⑥で「知床に来る前から知っていた」「知床に来てから知った」と回答した方について

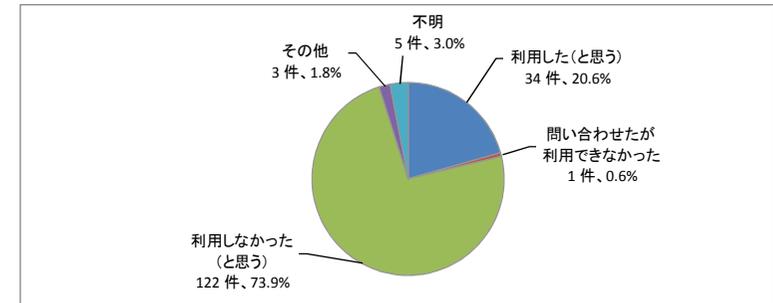
⑦知床五湖全般や新たな取り組みに関する情報をどこで知ったか。(n=221、複数回答)

- 知床五湖に関する情報をどこで知ったかを尋ねたところ、インターネットが最も多く際立っており、次いで、ガイドブックが続いている。



⑧知床五湖の登録引率者による地上遊歩道の案内を利用したか。(ヒグマ活動期、n=165)

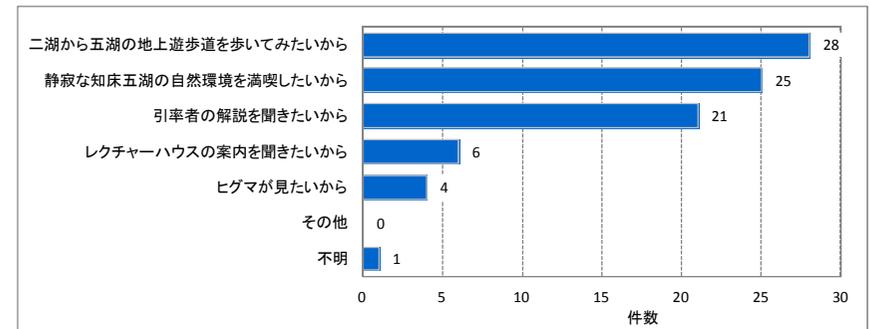
- 登録引率者による地上遊歩道の案内利用については、「利用しなかった」が最も多く7割以上となっており、「利用した」を大きく上回っている。



⑧で「利用した(と思う)」「問い合わせたが予約できなかった」と回答した方について

⑨登録引率者による地上遊歩道の案内を利用した理由は何か。(ヒグマ活動期、n=35、複数回答)

- 登録引率者による地上遊歩道の案内を利用した理由については、「二湖から五湖の地上遊歩道を歩いてみたい」が最も多くなっており、次いで「静寂な知床五湖の自然環境を満喫したい」「引率者の解説を聞きたい」が多くなっている。

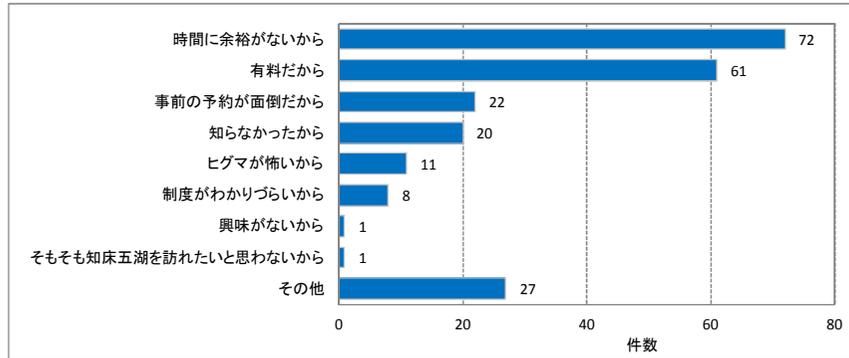


⑧で「利用しなかった（と思う）」「その他」と回答した方について

⑩登録引率者による地上遊歩道の案内を利用しなかった理由は何か。

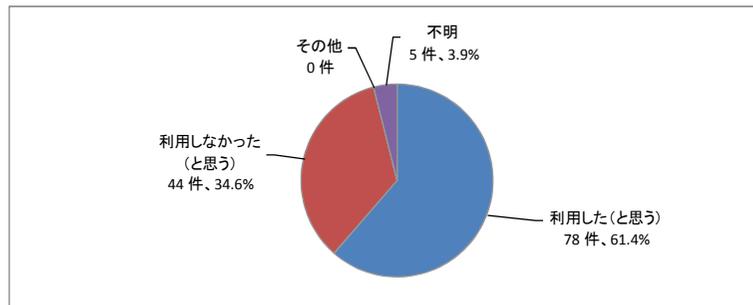
（ヒグマ活動期、n=125、複数回答）

- 登録引率者による地上遊歩道の案内を利用しなかった理由については、「時間に余裕がないから」が最も多くなっており、次いで「有料だから」も多くなっている。
- その他については、「小さな子供がいる」「天候が悪かった」「以前に利用したことがある」「料金が高すぎる」などが挙げられている。



⑪知床五湖でレクチャーを受けて地上遊歩道を利用したか。（植生保護期、n=127）

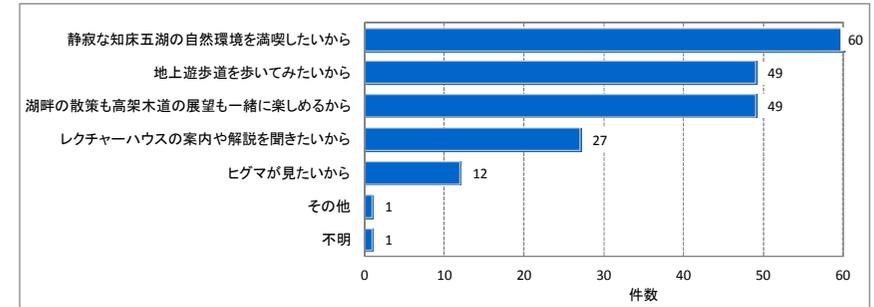
- 知床五湖でレクチャーを受けて地上遊歩道を利用したかを尋ねたところ、「利用した」が最も多く6割以上となっており、「利用しなかった」を上回っている。



⑪で「利用した（と思う）」と回答した方について

⑫レクチャーを受けて地上遊歩道を利用した理由は何か。（植生保護期、n=78、複数回答）

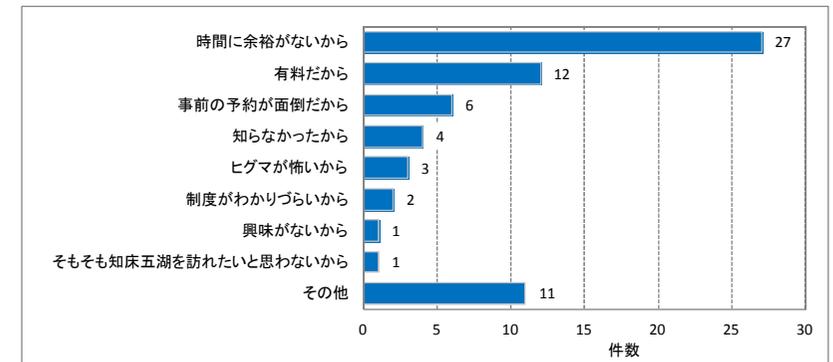
- レクチャーを受けて地上遊歩道を利用した理由については、「静寂な知床五湖の自然環境を満喫したい」が最も多く、次いで「地上遊歩道を歩いてみたい」「湖畔の散策も高架木道の展望も一緒に楽しめる」という回答が多くなっている。



⑪で「利用しなかった（と思う）」「その他」と回答した方について

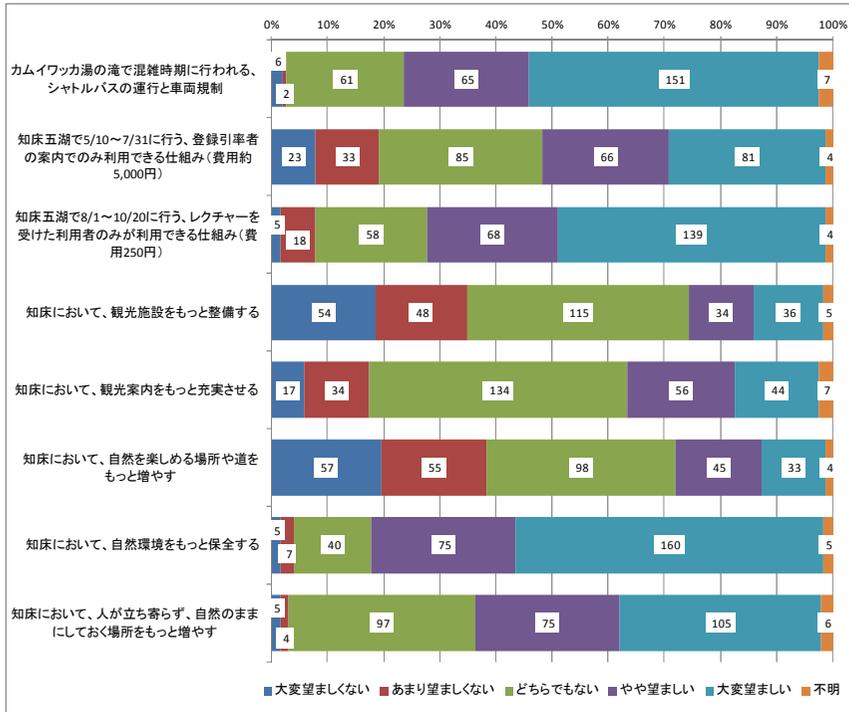
⑬レクチャーを受けて地上遊歩道を利用しなかった理由は何か。（植生保護期、n=44、複数回答）

- レクチャーを受けて地上遊歩道を利用しなかった理由については、「時間に余裕がない」が最も多くなっており、次いで「有料だから」もやや多くなっている。
- その他については、「小さな子供がいる」「以前に利用したことがある」などが挙げられている。



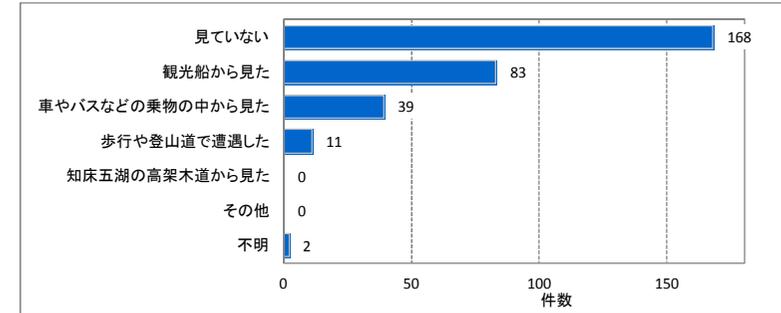
⑭知床地域のことについて、望ましいと思うか。(それぞれN=292、グラフ内の数字は件数)

- 知床地域の今後の課題等について尋ねたところ、車両混雑期に運行しているシャトルバスの運行や車両規制、知床五湖の植生保護期の地上遊歩道利用の取り組みには望ましいとする回答が多くみられる。また、知床全体については、人工的な手をかけずに自然を極力そのままにした上で、自然と親しむ場の提供を望んでいる傾向が窺える。



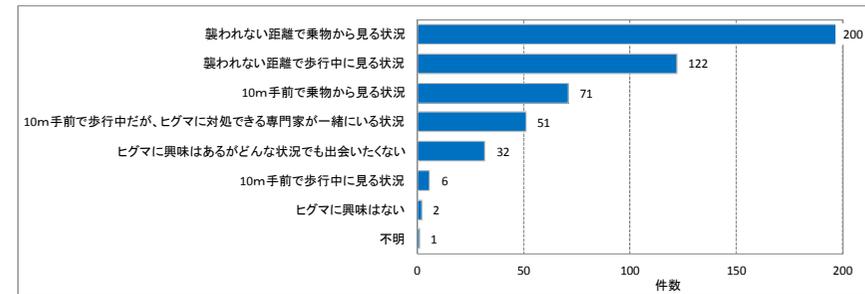
⑮今回、知床で野生のヒグマを見たか。(N=292、複数回答)

- 今回ヒグマに出会ったかについては、「見ていない」が最も多くなっている。次いで「観光船から見た」「乗物の中から見た」と続いている。



⑯どのような状況ならば、ヒグマに出会っても構わないと思うか。(N=292、複数回答)

- どのような状況でのヒグマとの遭遇であれば許容できるかを尋ねたところ、「襲われない距離で乗物から見る状況」がもっと多く、次いで「襲われない距離で歩行中に見る状況」と続いている。



II. 全体調査／羅臼

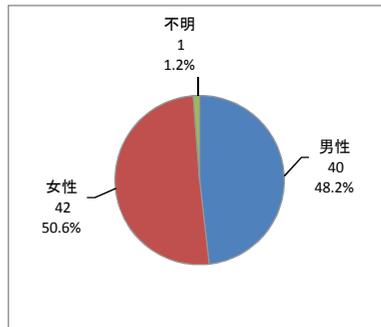
1. 調査概要

羅臼ビジターセンターを訪れた方を対象に、調査票を手渡しで配布し、後日郵送により回収した。配布・回収状況については以下のとおりである。

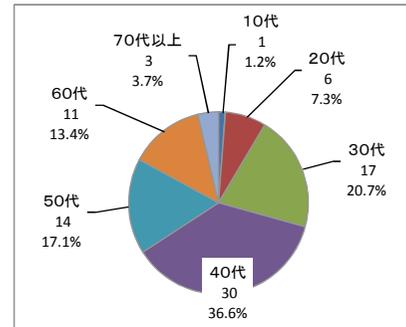
配布日	ヒグマ活動期	植生保護期	計
	H23/7/30(土)、31(日)の2日間	H23/8/3(水)～8/5(金)の3日間	
配布数	61通	140通	201通
有効回収数	27通	56通	83通(N)
有効回収率	44.3%	40.0%	41.3%

2. 回答者属性

①性別 (N=83)

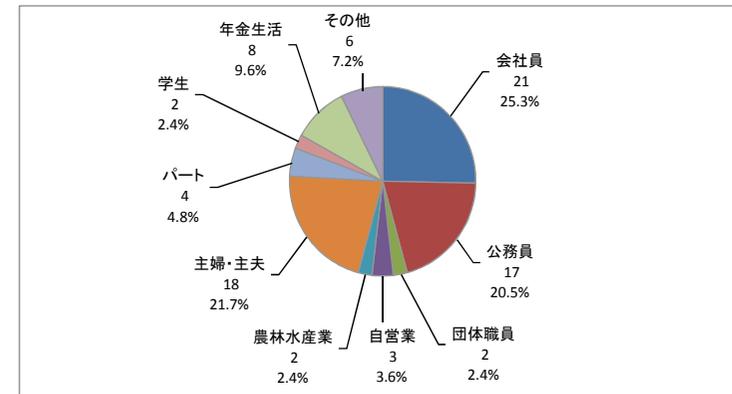


②年齢 (N=83)



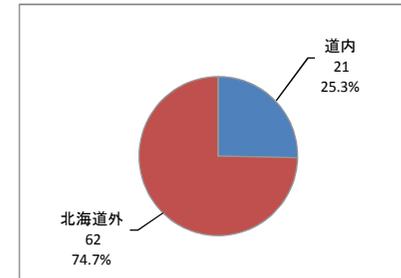
- ・ 男女別では、男性と女性で半々となっている。
- ・ 年齢別では、40代が最も多く4割弱を占めている。次いで、30代、50代、60代となっている。

③職業 (N=83)

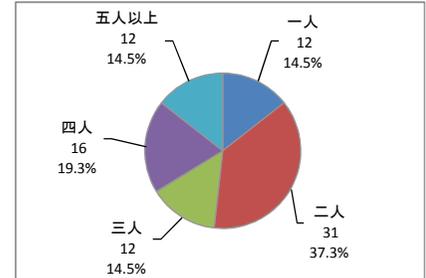


- ・ 職業別では、会社員、主婦・主夫、公務員で全体の7割弱を占めている。

④居住地 (N=83)

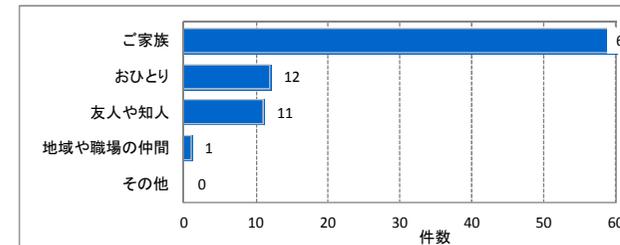


⑤同行人数 (N=83)



- ・ 居住地別では、道外が全体の7割以上を占めており、道外利用者が目立っている。
- ・ 一組当たりの人数については、二人が最も多く4割弱を占めている。次いで、四人が2割となっている。

⑥同行グループ (N=83、複数回答)

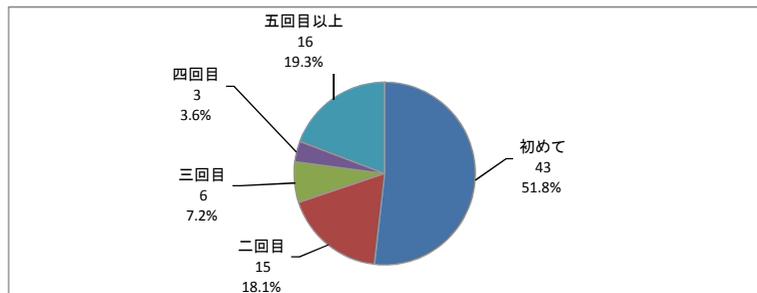


- ・ グループについては、家族が最も多く際立っている。

3. 単純集計結果

①知床に何回訪問したことがあるか。(N=83)

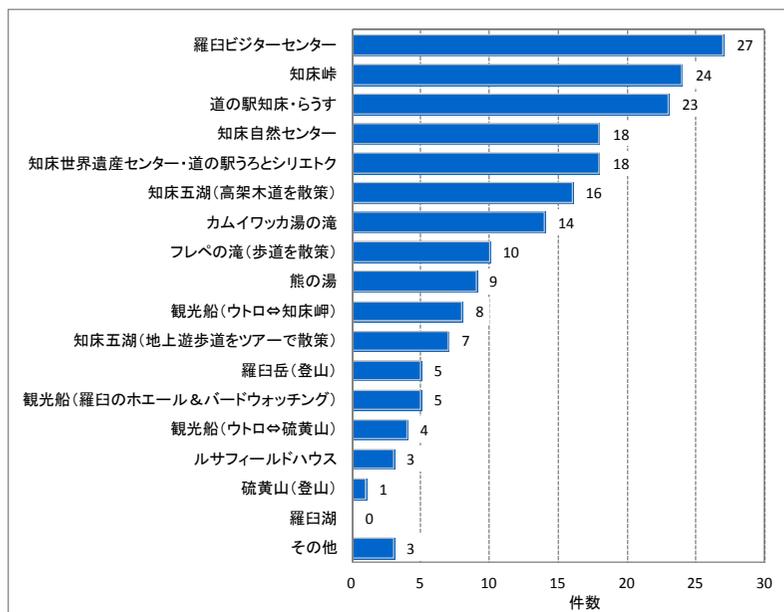
- 知床への訪問回数については、初めての訪問者が最も多く半数以上を占めている。次いで、五回目以上のリピーターが2割となっている。



②今回の訪問で知床のどこを訪れたか。

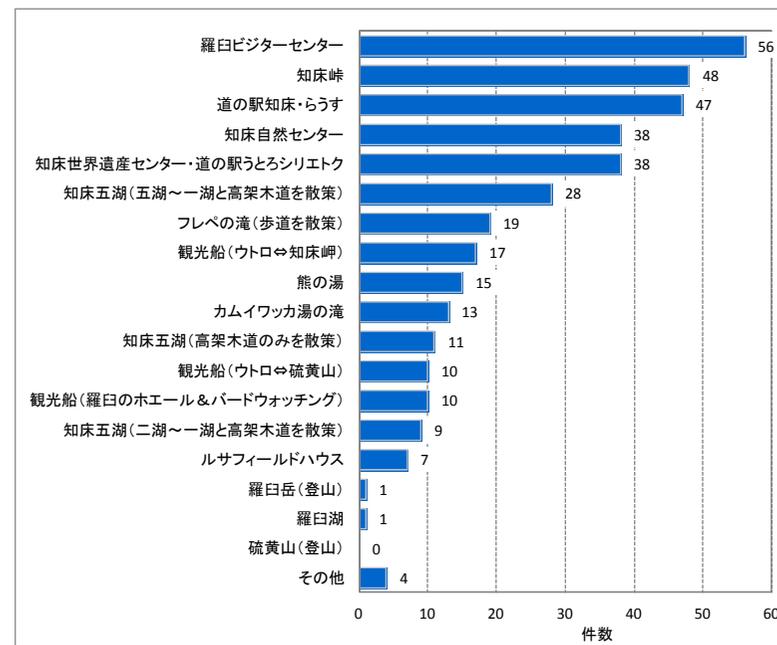
(ヒグマ活動期、n=27、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れた羅臼ビジターセンター以外の具体的な場所については、知床峠が最も多く、次いで、道の駅知床・らうす、知床世界遺産センター・道の駅うとろシリエトク、知床自然センターと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。
- 8月に比べてカムイワッカ湯の滝への訪問者が多くみられる。



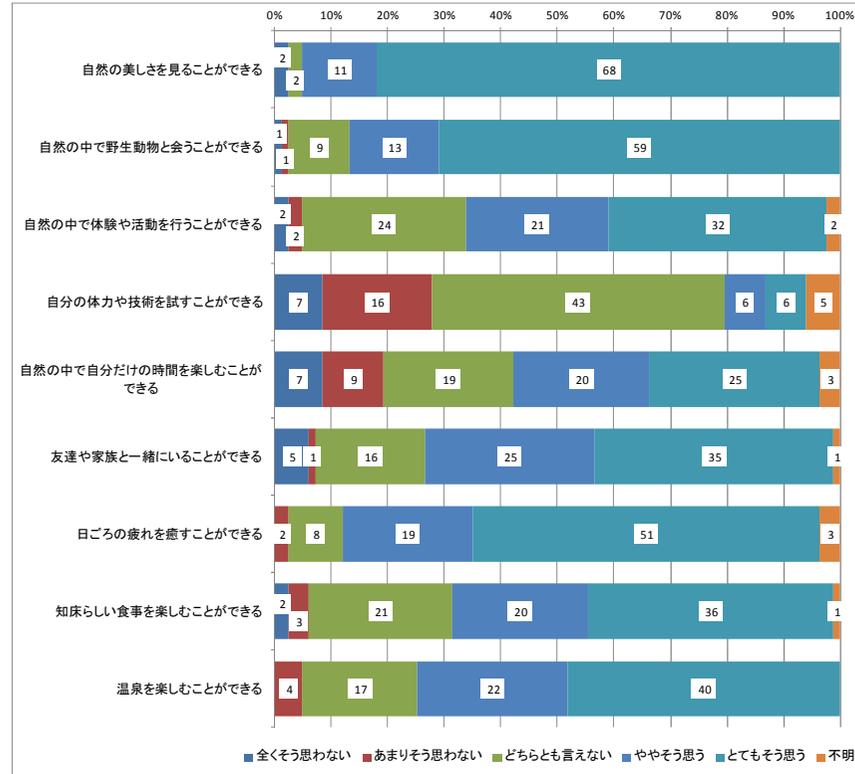
(植生保護期、n=56、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れた羅臼ビジターセンター以外の具体的な場所については、知床峠が最も多く、次いで、道の駅知床・らうす、知床世界遺産センター・道の駅うとろシリエトク、知床自然センターと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。
- 7月に比べてカムイワッカ湯の滝への訪問者が少ない。



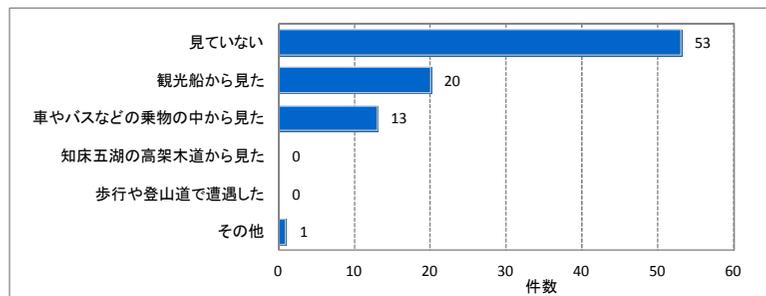
③知床への訪問動機について当てはまるものはどれか。(それぞれN=83、グラフ内の数字は件数)

- 知床への訪問動機については、自然の美しさを見ることを期待した回答が最も多くみられる。次いで、野生動物との出会い、日ごろの疲れの癒し、温泉を楽しむなどの回答が目立っている。



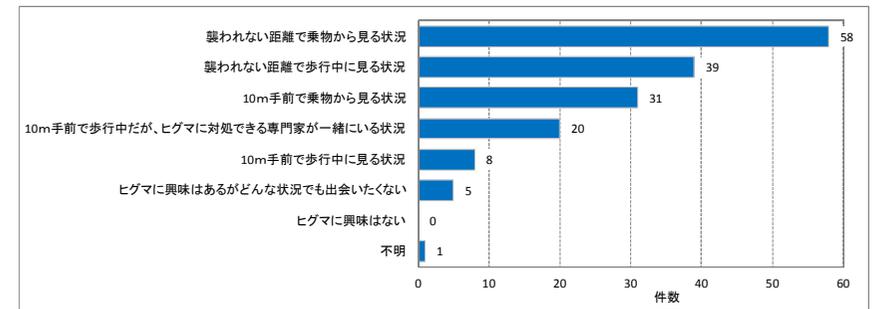
④今回、知床で野生のヒグマを見たか。(N=83、複数回答)

- 今回ヒグマに出会ったかについては、「見ていない」が最も多くなっている。次いで「観光船から見た」「乗物の中から見た」と続いている。



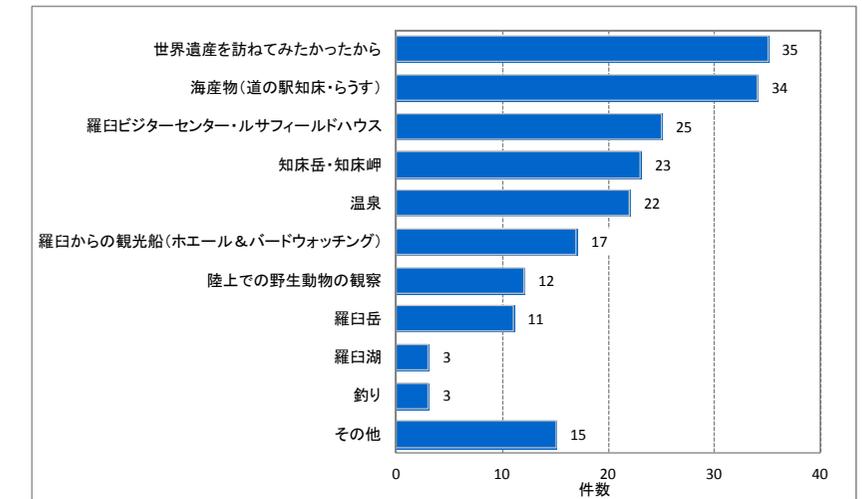
⑤どのような状況ならば、ヒグマに出会っても構わないと思うか。(N=83、複数回答)

- どのような状況でのヒグマとの遭遇であれば許容できるかを尋ねたところ、「襲われない距離で乗物から見る状況」がもっと多く、次いで「襲われない距離で歩行中に見る状況」と続いている。



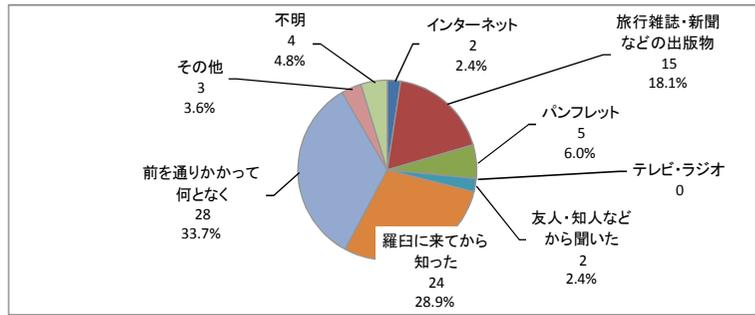
⑥羅臼を訪れた目的は何か。(N=83、複数回答)

- 羅臼を訪れた目的については、「世界遺産を訪ねてみたかった」ほぼ同数で「海産物」目当ての方が多くみられた。次いで、羅臼ビジターセンター・ルサフィールドハウス、知床岳・知床岬、温泉などが続いている。
- その他については、「国後島」「道の駅めぐり」などが挙げられている。



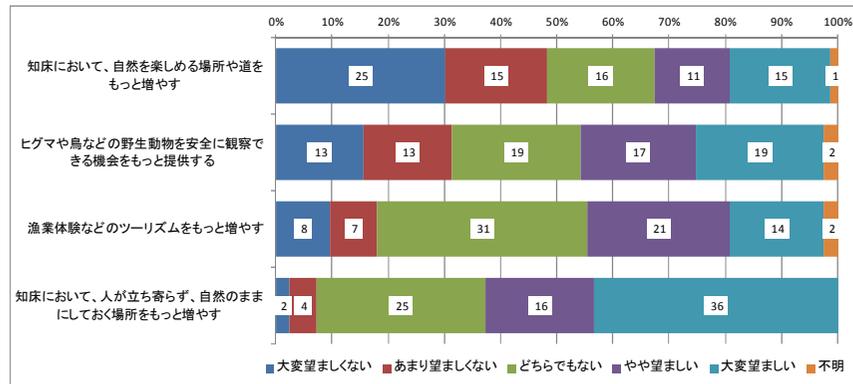
⑦「羅臼ビジターセンター」をどこで知ったか。(N=83)

・今回利用した羅臼ビジターセンターについての情報は、「前を通りかかって何となく」「羅臼に来てから知った」が多く合わせて6割以上を占めている。よって、多くの利用者が羅臼に来てから存在を知った状況が窺える。次いで「雑誌・新聞などの出版物」が2割弱となっている。



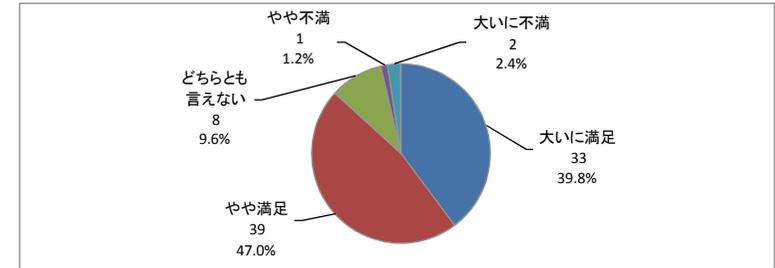
⑧知床に関することについて、望ましいと思うか。(それぞれN=83、グラフ内の数字は件数)

・羅臼地域の今後の課題等について尋ねたところ、全体として自然を楽しめる場所や道を増やすことに対して望ましくないと捉える人が比較的多く、人工的な手をかけずに自然を極力そのままにした上で、自然と親しむ場の提供を望んでいる傾向が窺える。



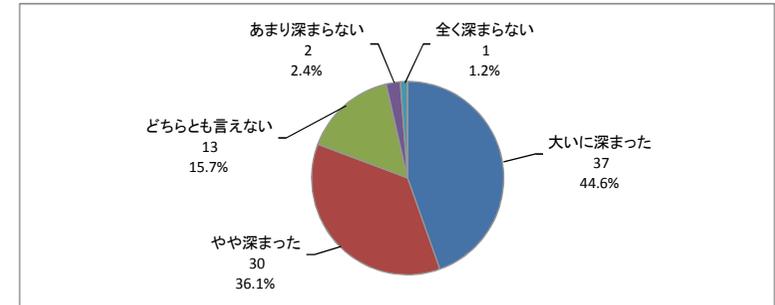
⑨羅臼を訪れて満足したか。(N=83)

・羅臼訪問の満足度については、「大いに満足」「やや満足」を合わせて9割弱を占めており、多くの方が満足していることが窺える。



⑩羅臼を訪れて、自然保護への興味は深まったか。(N=83)

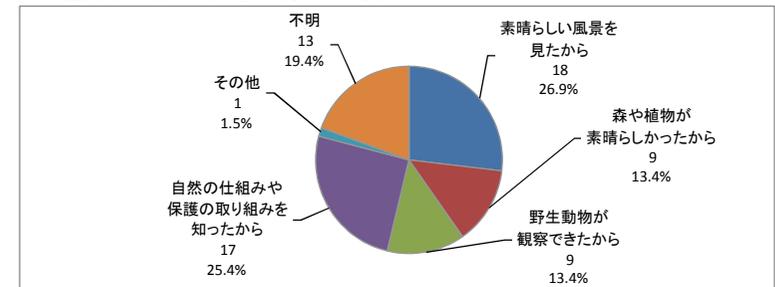
・羅臼を訪れたことによる自然保護への興味の深まりについては、「大いに深まった」「やや深まった」を合わせて8割を占めており、今回の訪問を契機に自然保護への関心の高まりがみられた。



⑩で自然保護への興味が「大いに深まった」「やや深まった」と回答した方について

⑪なぜ自然保護への興味が深まったと思うか。(n=67)

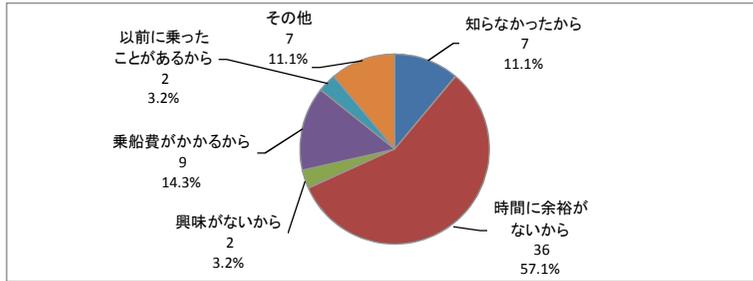
・自然保護への興味の深まりの理由を尋ねたところ、「素晴らしい風景を見た」「自然の仕組みや保護の取り組みを知った」が多くそれぞれ1/4程度を占めている。次いで「森や植物が素晴らしかった」「野生動物が観察できた」が続いている。



羅臼からの観光船に乗らなかった方について

⑫ 羅臼の観光船に乗らなかった理由は何か。(n=63)

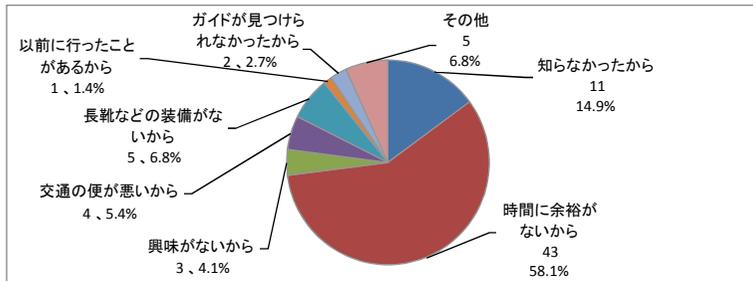
- ・ 羅臼の観光船を利用しなかった理由については、「時間に余裕がない」が最も多く6割弱を占めている。次いで「乗船費がかかる」「知らなかった」が続いている。
- ・ その他については、「料金が高すぎる」などが挙げられている。



羅臼湖に行かなかった方について

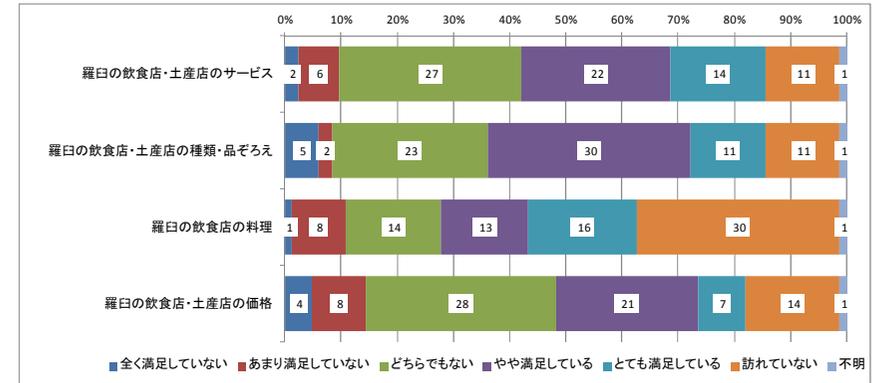
⑬ 羅臼湖に行かなかった理由は何か。(n=74)

- ・ 羅臼湖に行かなかった理由については、「時間に余裕がない」が最も多く約6割を占めている。次いで「知らなかった」が続いている。



⑭ 羅臼の飲食店・土産店について満足できたか。(それぞれN=83、グラフ内の数字は件数)

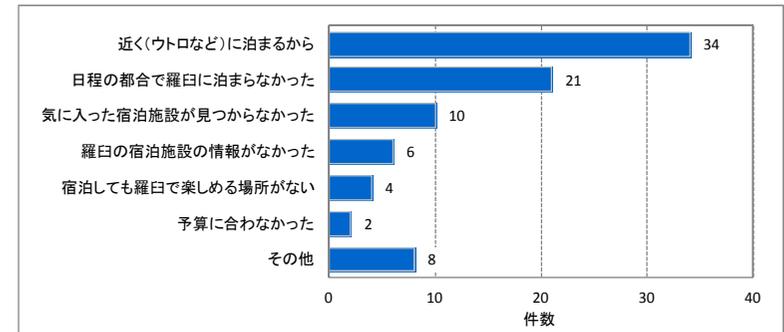
- ・ 羅臼の飲食店・土産店の満足度については、明らかに満足していないという利用者は少ないものの、どちらでもないという回答が比較的多くみられる。種類・品ぞろえや価格については満足している回答がやや多くみられ、飲食店の料理については、利用した方では満足している回答が多い反面、飲食店を訪れていない方も多くみられる。



羅臼で宿泊しなかった方について

⑮ 羅臼の宿泊施設を利用しなかった理由は何か。(n=66、複数回答)

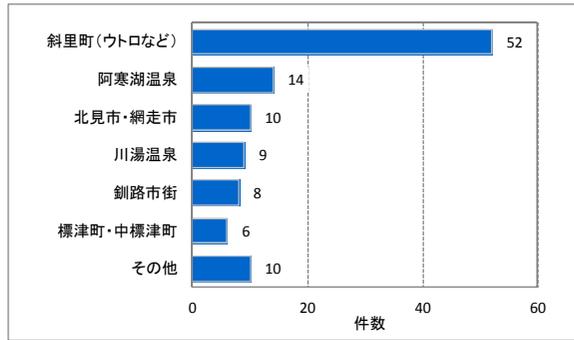
- ・ 羅臼の宿泊施設を利用しなかった理由については、「ウトロなど近くに泊まるから」が最も多くっており、次いで「日程の都合で羅臼に泊まらなかった」となっている。



羅臼地区以外の宿泊施設を利用した方について

⑩羅臼地区の近隣で、どの地域の宿泊施設を利用したか。(n=66、複数回答)

- ・ 羅臼地区の近隣でどの地域の宿泊施設を利用したかについては、ウトロなどの斜里町が最も多く際立っている。



⑪羅臼地区についての感想・意見 (n=34、自由回答)

- ・ 羅臼川でオショロコマがたくさん釣れてうれしかった。
- ・ 無料の良い温泉があり感激した。10～15分位しか入らないのに、500円以上も支出するのは馬鹿らしい。
- ・ 道の駅知床らうすの駐車スペースが少ないと思いました。
- ・ 道の駅の駐車台数を増やしてほしい。羅臼の特産物をもっと前面に(昆布以外)。
- ・ ウトロに泊まって朝ホエールウォッチング。羅臼集合は時間的に忙しい。車もついつい飛ばしがちになってしまう。羅臼に大きなホテルがあれば、間違いなくそこに宿泊します。ネイチャークルーズの長谷川さんに頼んでホテル作ってもらいましょう。
- ・ 道の駅周辺以外は、「ひっそりとしている町」という印象を受けました。ビジターセンターをはじめ、地元の方々は優しく接して下さい、とても好感が持てました。
- ・ 今のままで良い。自然のままにしておいて(トイレもきれいだった)。
- ・ 道の駅、今一步!
- ・ ウトロに比べ、観光地というよりも漁村のようなイメージが強かった。それもまた、羅臼の魅力であると思うし、道の駅で購入した花咲ガニも毛ガニも美味しかった。
- ・ ここ数年間毎年知床(羅臼)に来ているが、しばらくぶりに国後島を間近に見ることができた。羅臼は、北方領土を身近に感じられることができる貴重な場所でもある。根室のように北方領土返還活動をもっと行っても良いのではないだろうか。
- ・ 次回、道東に来る時には羅臼地区への宿泊も検討します。
- ・ いつまでも自然が残る場所として下さい。
- ・ 閉店時間が早い。開店している店が少ない。美味しいものを食べさせてくれる店がないと感じる。
- ・ 有名な羅臼昆布を買って帰らなかったことを後悔しています。
- ・ 海産物がおいしい。
- ・ 時間に余裕がないと、十分な観光はできないと思った。
- ・ マッカウスのひかり苔が全然見られずに残念だった。(全然光ってなかった)
- ・ 余り商業化しない方がよい。素朴でよいと思う。
- ・ 余り寄れるところがなく、通り過ぎてしまいました。
- ・ 素晴らしかった! またいつか行きたいです。「地の涯に生きるもの」を今回羅臼で初めて知った

のでぜひ見たいのですが、なかなか入手困難なようで・・・ぜひ羅臼・知床の関係者の力でレンタルDVDが簡単に借りられるようにして下さい。

- ・ 雑誌等媒体では、ウトロが中心に掲載されるので、羅臼を活動の拠点とは考えなかったが、今回訪問して今回は羅臼に滞在したいと思いました。
- ・ 民間が個々身勝手な生きるための自然素材を食いつぶしているだけ。行政主導で人工物を作りまくり、近自然工法さえもレアである。4年後のチェックに堪えられない。人が来ればOKではなかりょうに。
- ・ 子どもに安全な形でクマや動物を見せたい。
- ・ 自然があふれる素晴らしい所でした。義母の故郷でもあります。絶対にまた来ます!
- ・ 昔ながらの素朴な漁港で飾りがなくてとてもよかった。
- ・ 道の駅の阿部さんが面白かった。
- ・ 自然と人の共存素晴らしかったです。また来たい!
- ・ 熊の穴が閉まっていて残念(相泊)。
- ・ 今回ウトロの夕陽を見に行き、確かにロケーションの点ではウトロにかなわないかもしれない。ただ羅臼地区ももう少し観光に力を入れ観光客を呼ぶべきではないでしょうか。
- ・ ウトロのホテルで食べた羅臼昆布しゃぶしゃぶがとてもおいしかったです。地元料理としてプッシュしてはどうでしょう。
- ・ まるみ食堂でラーメンを注文したが、髪の毛が入っていた。その際の店員の対応が今一つで、店員の愛想が悪かった。清潔感がなかった。非常に残念。羅臼のイメージが悪くなった・・・残念。
- ・ ブドウ海老やキンキなど、食はウトロ側より上です。そういうものを売りにすれば、高級志向の客は集まるかもしれません。でも冬が・・・近いところでウトロは第一ホテル、養老牛温泉のだいいちなど、地域を引っ張っていく旅館が羅臼にあればと思います。正直羅臼に沢山の宿泊施設があることを最近まで知りませんでした。宣伝が少ないと思います。
- ・ 港に不法駐車場のキャンプする車が多すぎる。オートキャンプ場にシャワー、入浴設備がない。ゴミ袋の回収回収の案内が少ない。漁師の一部が空き缶を海中に捨てる。
- ・ とてもきれいで癒されます。何回でも行きたいと思える。

Ⅲ. カムイワッカ

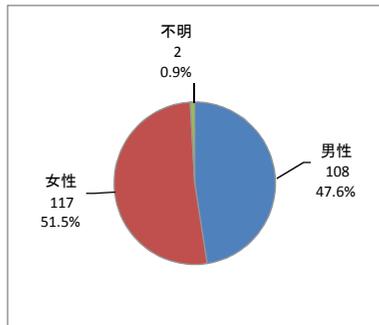
1. 調査概要

カムイワッカ湯の滝を訪れた方を対象に、調査票を手渡しで配布し、後日郵送により回収した。配布・回収状況については以下のとおりである。

配布日	ヒグマ活動期 (車両規制なし)	植生保護期 (車両規制あり)	計
	H23/7/26(火)~28(木)の 3日間	H23/8/7(日)、8(月)、 16(火)、17(水)の4日間	
配布数	300 通	300 通	600 通
有効回収数	126 通	101 通	227 通 (N)
有効回収率	42.0%	33.7%	37.8%

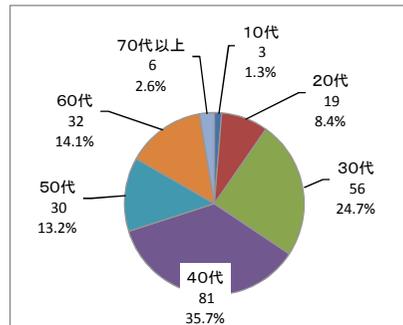
2. 回答者属性

①性別 (N=227)

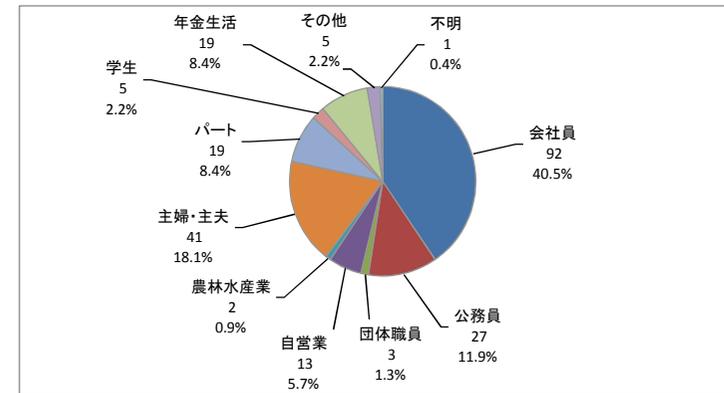


- ・ 男女別では、女性が若干多いものの、ほぼ同じ割合となっている。
- ・ 年齢別では、40代が3割以上で最も多く、次いで、30代、60代、50代となっている。

②年齢 (N=227)

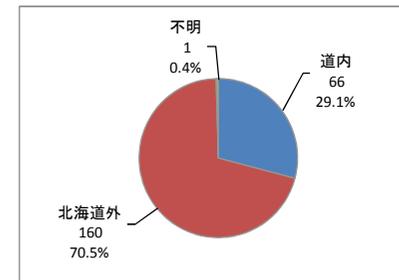


③職業 (N=227)

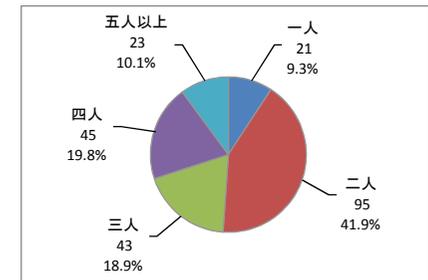


- ・ 職業別では、会社員が4割を占めており、次いで、主婦・主夫が2割弱となっている。

④居住地 (N=227)

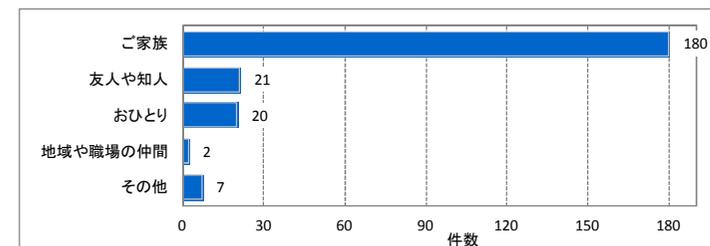


⑤同行人数 (N=227)



- ・ 居住地別では、北海道外が7割を占めており、道外利用者が目立っている。
- ・ 一組当たりの人数については、二人が最も多く4割以上、次いで、四人、三人となっている。

⑥同行グループ (N=227、複数回答)



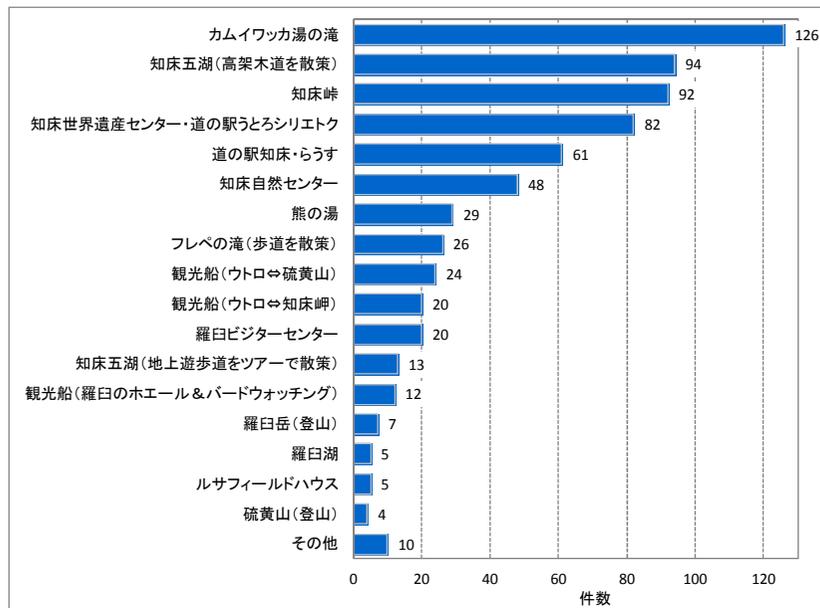
- ・ グループについては、家族が最も多く際立っている。

3. 単純集計結果

①今回の訪問で知床のどこを訪れたか。

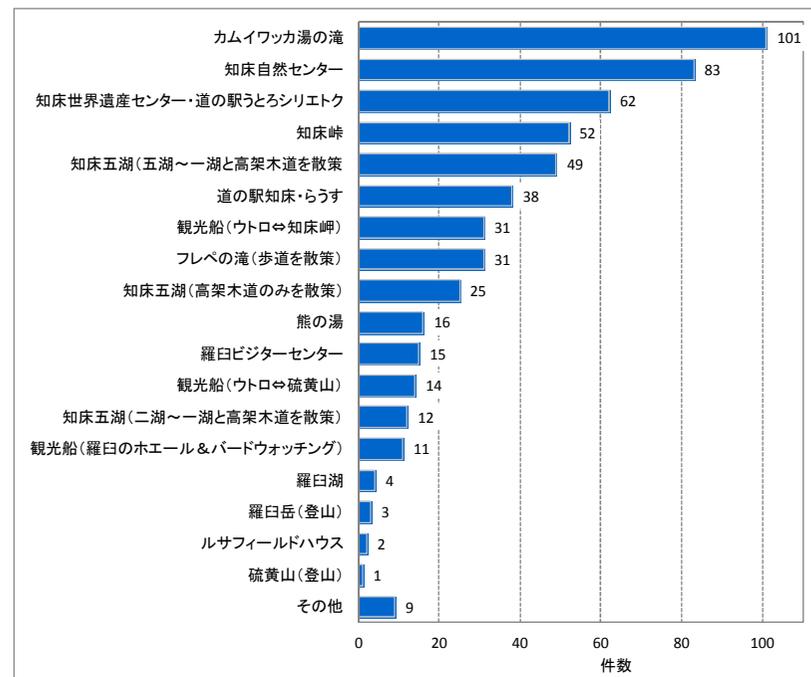
(ヒグマ活動期・車両規制なし、n=126、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れたカムイワッカ湯の滝以外の具体的な場所については、ほぼ同数で知床五湖（高架木道）及び知床峠が最も多く、次いで、知床世界遺産センター・道の駅うしろシリエトク、道の駅知床・らうす、知床自然センターと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。



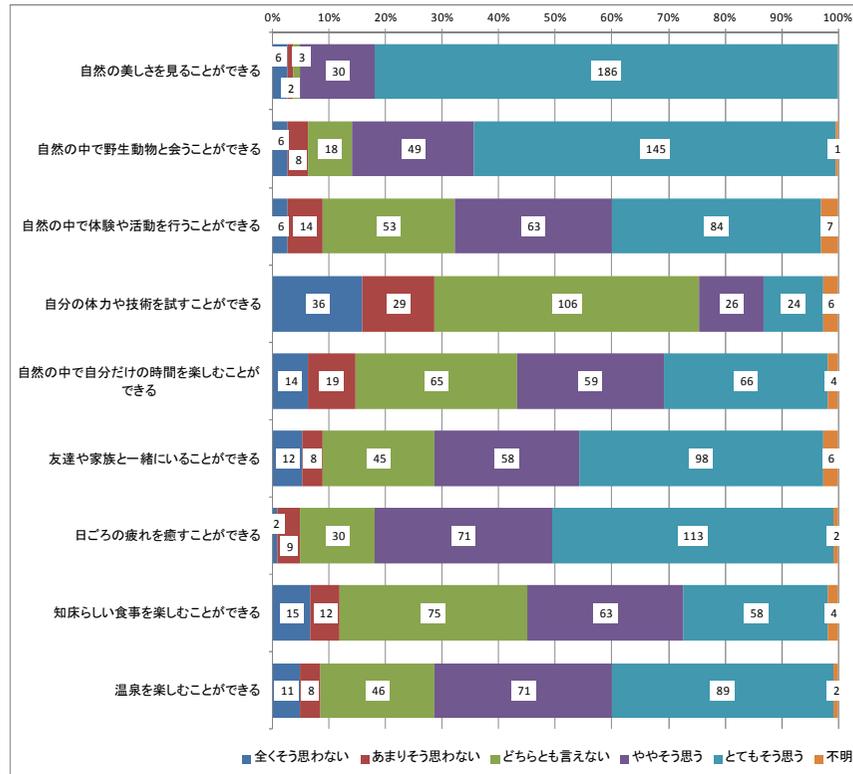
(植生保護期・車両規制あり、n=101、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れたカムイワッカ湯の滝以外の具体的な場所については、知床自然センターが最も多く、次いで、知床世界遺産センター・道の駅うしろシリエトク、知床峠、知床五湖、道の駅知床・らうすと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。
- カムイワッカ湯の滝まで車両規制中であることから、7月と異なりシャトルバスの発着地である知床自然センターが上位となっている。



②知床への訪問動機について当てはまるものはどれか。(それぞれN=227、グラフ内の数字は件数)

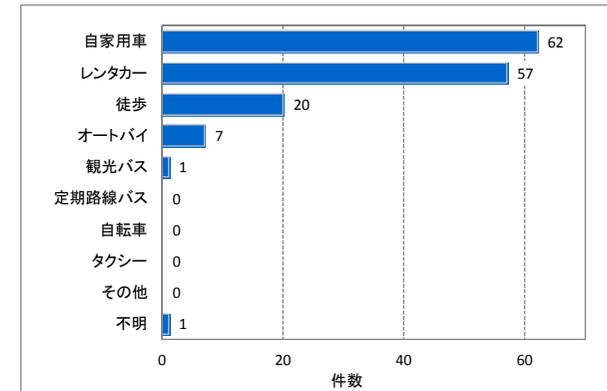
- 知床への訪問動機については、自然の美しさを見ることを期待した回答が最も多くみられ、次いで、野生動物との出会い、日ごろの疲れの癒し、家族や友人と一緒にいること、自然の中の体験や活動、自然の中で自分だけの時間を楽しむこと、温泉を楽しむ回答が目立っている。



③知床内で利用した交通手段は何か。

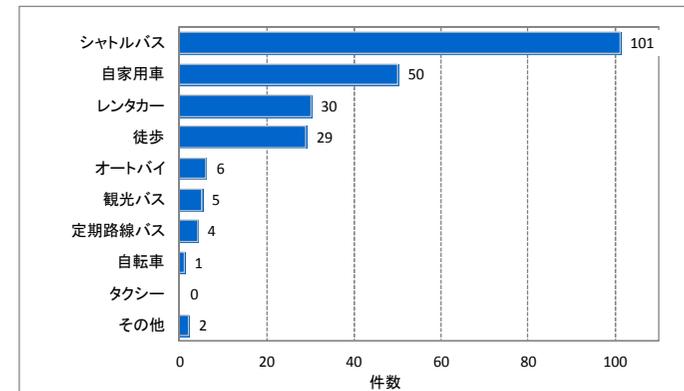
(ヒグマ活動期・車両規制なし、n=126、複数回答)

- 知床内で利用した交通手段については、自家用車が最も多く、次いで、レンタカーとなっている。



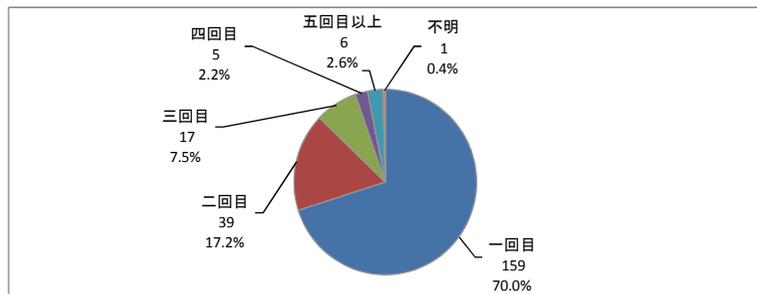
(植生保護期・車両規制あり、n=101、複数回答)

- 知床内で利用した交通手段については、車両規制中であることからシャトルバスが最も多く、次いで、自家用車、レンタカーと続いている。



④今回を含めて、これまでカムイワッカ湯の滝に何回訪問したことがあるか。(N=227)

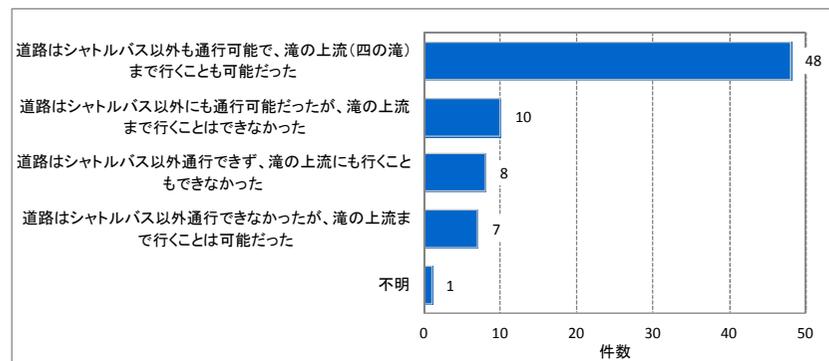
- カムイワッカ湯の滝への訪問回数については、初めての訪問が最も多く、全体の7割となっており、次いで、二回目、三回目となっている。



④で「二回目」「三回目」「四回目」「五回目以上」と回答した方について

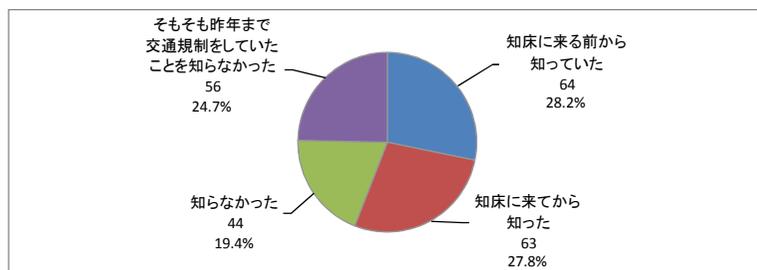
⑤過去にカムイワッカ湯の滝を訪問した時の利用状況はどうか。(n=67、複数回答)

- 過去にカムイワッカ湯の滝を利用した時の利用状況については、「道路はシャトルバス以外も通行可能で、滝の上流(四の滝)まで行くことが可能だった」が最も多く際立っている。



⑥今年からカムイワッカ湯の滝に自家用車などで行けるようになったことを知っていたか。(N=227)

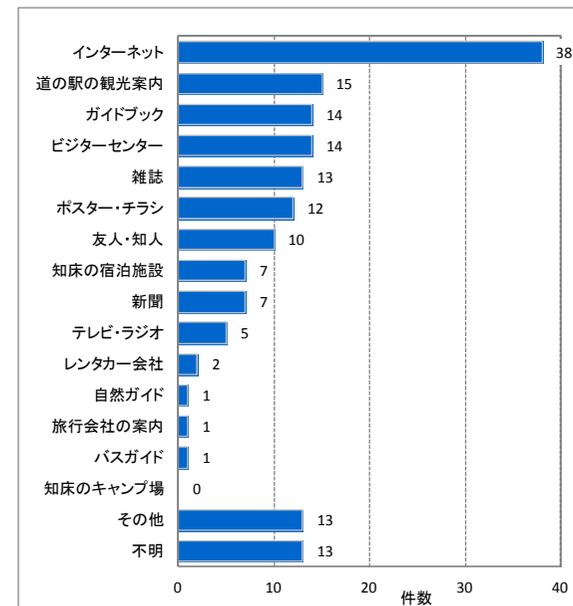
- 今年からカムイワッカ湯の滝に自家用車などで行けるようになったことを知っていたかを尋ねたところ、「知床に来る前から知っていた」「知床に来てから知った」を合わせて半数以上を占めている。



⑥で「知床に来る前から知っていた」「知床に来てから知った」を回答した方について

⑦カムイワッカ湯の滝全般や車両規制に関する情報をどこで知ったか。(n=127、複数回答)

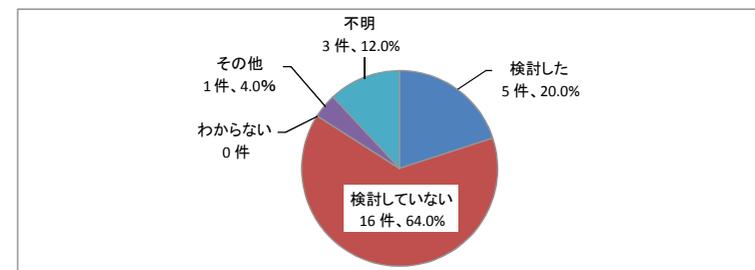
- カムイワッカ湯の滝に関する情報をどこで知ったかを尋ねたところ、インターネットが最も多く、次いで、道の駅の観光案内、ガイドブック、ビジターセンターと続いている。
- その他については、「観光船内の案内」「道路標識」「知床五湖の駐車場」などが挙げられている。



⑥で「知床に来る前から知っていた」を回答した方について

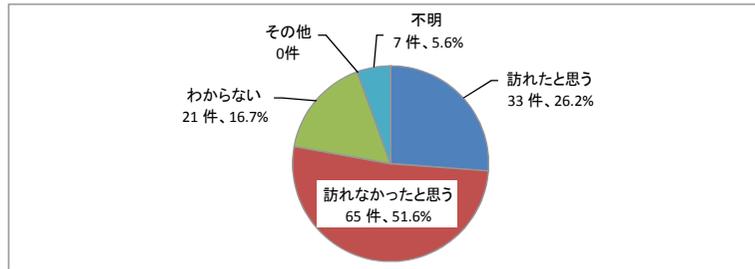
⑧カムイワッカ湯の滝へ自家用車などで行くために、車両規制がない時期に知床を訪問することを検討したか。(植生保護期・車両規制あり、n=25)

- 車両規制を実施していない時期のカムイワッカ湯の滝の訪問を検討したかを尋ねたところ、「検討していない」が6割以上を占め、「検討した」を大きく上回っている。



⑨仮に訪問した時期に車両規制が行われていた場合、シャトルバスを利用してカムイワッカ湯の滝を訪れたと思うか。(ヒグマ活動期・車両規制なし、n=126)

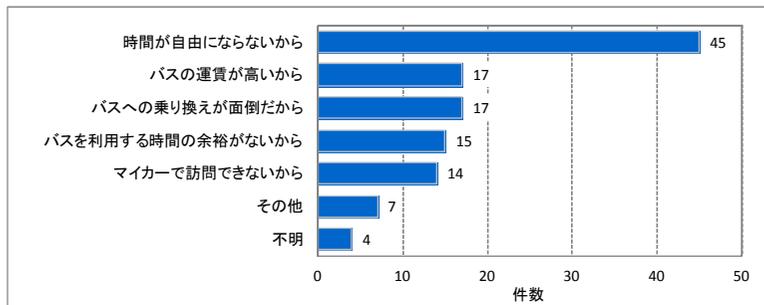
- 車両規制が行われていたら、カムイワッカ湯の滝を訪れたかを尋ねたところ、「訪れなかったと思う」が全体の半数を超えており、「訪れたと思う」を上回っている。



⑨で「訪れなかったと思う」と回答した方について

⑩車両規制が行われていた場合、シャトルバスを利用してカムイワッカ湯の滝を訪れなかったと思う理由は何か。(ヒグマ活動期・車両規制なし、n=65、複数回答)

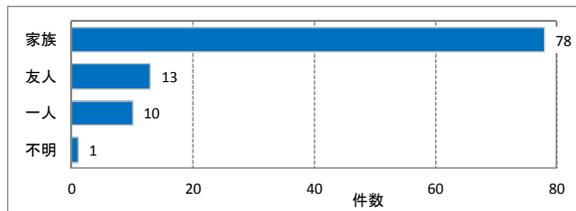
- 車両規制が行われていたら、カムイワッカ湯の滝を訪れなかった理由については、「時間が自由にならない」が最も多く際立っている。



⑪シャトルバスについて (植生保護期・車両規制あり、それぞれn=101)

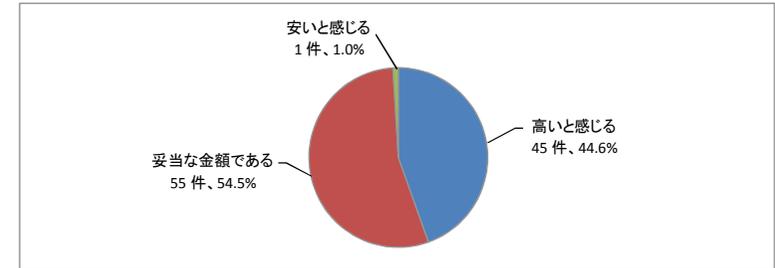
◆同乗者 (複数回答)

- シャトルバスの同乗者については、家族が最も多く際立っている。



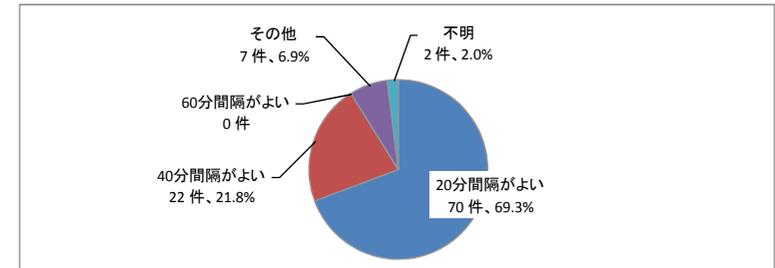
◆運賃<自然センターからの往復大人1,300円・子供650円>

- 運賃については、半数以上が妥当な金額であると回答している一方で、高いと感じている方も4割を超えている。



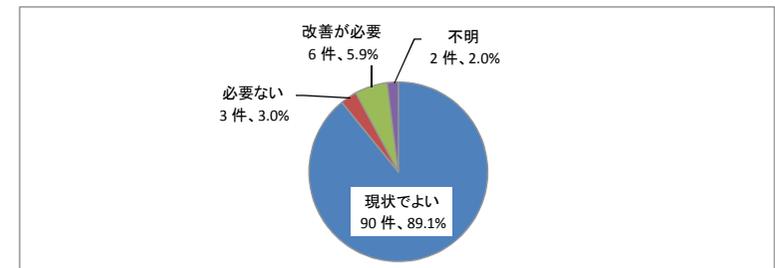
◆運行間隔

- 運行間隔については、20分間隔がよいとの回答が7割を占めており、次いで、40分間隔が2割程度となっている。



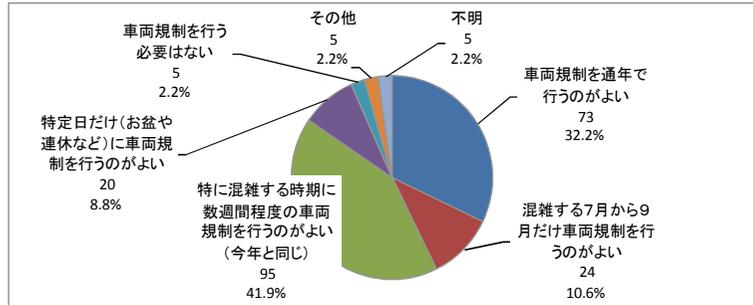
◆バス内での放送による説明

- バス内での放送による説明については、現状でよいが9割を占めている。



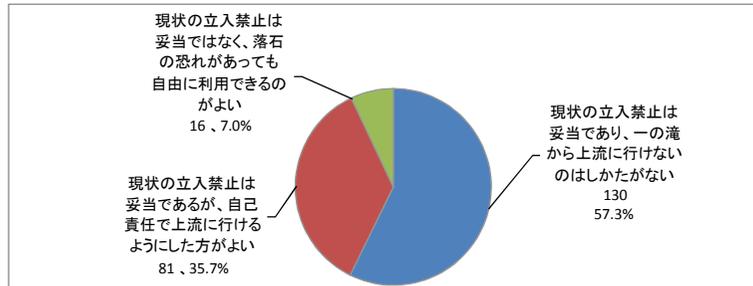
⑫カムイワッカ湯の滝で実施している車両規制について、どのような方法が一番望ましいと思うか。
(N=227)

- カムイワッカ湯の滝の車両規制について一番望ましい方法を尋ねたところ、「今年と同じように特に混雑する時期に数週間程度の車両規制を行うのがよい」が4割以上で最も多く、次いで「車両規制を通年で行うのがよい」が3割程度となっている。



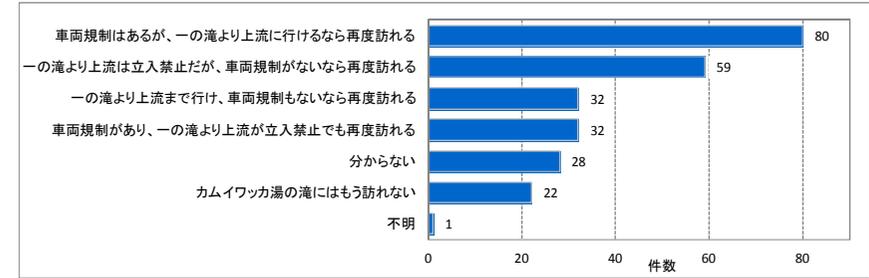
⑬カムイワッカ湯の滝の一の滝より上流が立入禁止になっていることについてどう思うか。
(N=227)

- 一の滝より上流が立入禁止になっていることについて尋ねたところ、「現状の立入禁止は妥当であり、一の滝から上流へ行けないのはしかたがない」が6割近くで最も多くを占めている。一方、「現状の立入禁止は妥当であるが、自己責任で上流に行けるようにした方がよい」も1/3以上となっている。



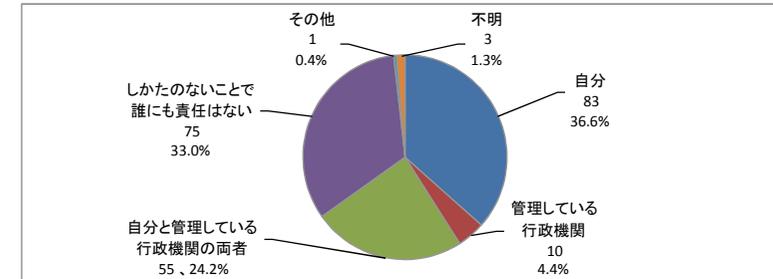
⑭再び知床を訪れる機会があった場合、どのような条件であればカムイワッカ湯の滝を訪れるか。
(N=227、複数回答)

- 再度訪問機会があった場合、どのような条件であればカムイワッカ湯の滝を訪れるかを尋ねたところ、「車両規制はあるが、一の滝より上流に行けるならば訪れる」が最も多く、次いで「一の滝より上流は立入禁止だが、車両規制がないならば訪れる」となっている。



⑮仮に一の滝から降りる途中で、落石に当たり大けがをしたとする。この事故の責任はどこにあると思うか。(N=227)

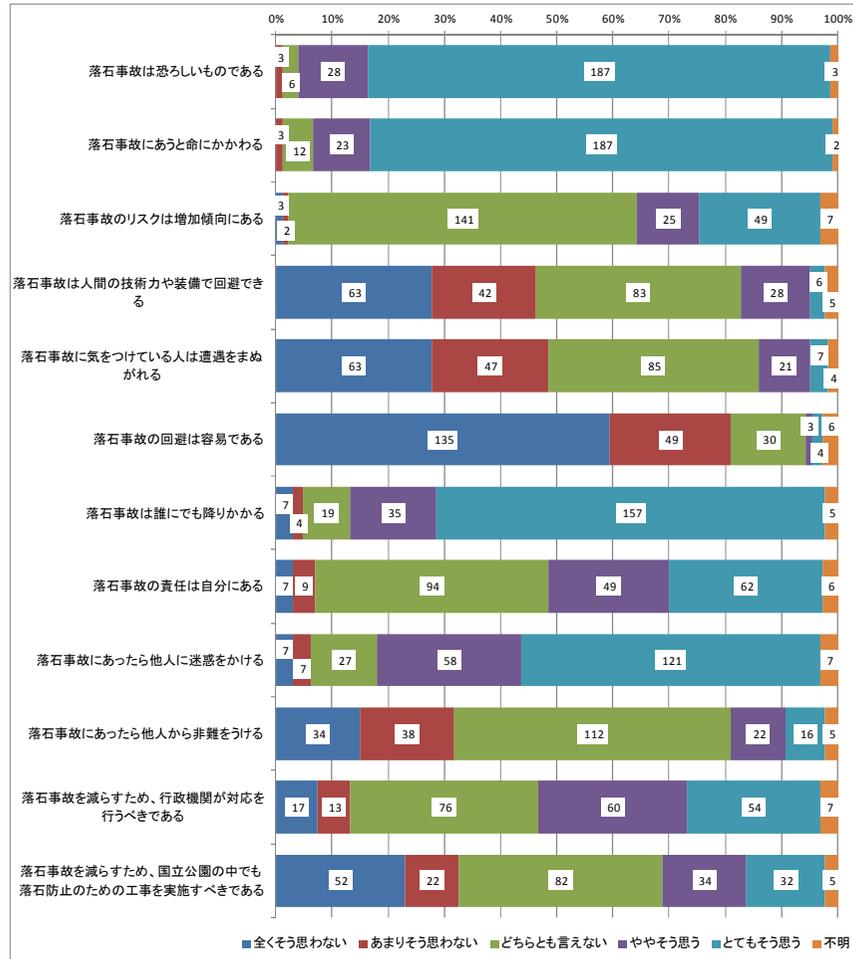
- 仮に一の滝から降りる途中で落石事故に遭遇した場合の責任の所在について尋ねたところ、「自分」が最も多く4割弱を占めている。次いで「しかたのないことで誰にも責任はない」が1/3を占めている。



⑩カムイワッカ湯の滝で落石に当たり大けがをする事故の危険性についてどう思うか。

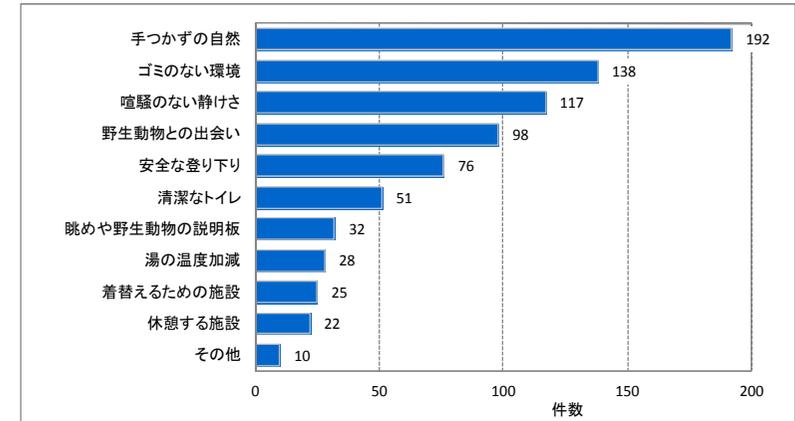
(それぞれN=227、グラフ内の数字は件数)

- ・ 落石事故の危険性についてどう思うかを尋ねたところ、多くの利用者が落石事故の危険性を認識しており、事故回避は容易でないことも感じていることが窺える。また、落石事故は誰にでも降りかかるものと認識しており、他人に迷惑をかけることを認識している。事故防止のための対応については、行政機関が行うべきという回答がやや多くなっている。



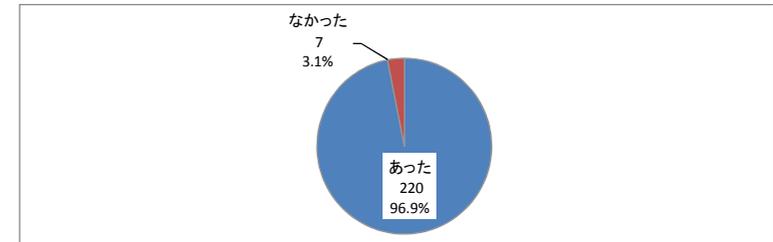
⑪カムイワッカ湯の滝で大切なものは何か。(N=227、複数回答)

- ・ カムイワッカ湯の滝で大切なものを尋ねたところ、「手つかずの自然」が最も多く、次いで「ゴミのない環境」「喧騒のない静けさ」「野生動物との出会い」と続いている。



⑫カムイワッカ湯の滝まで未舗装の道路を40分ほど通ってきて、カムイワッカ湯の滝以外に訪れるだけの価値があるものはあったか。(N=227)

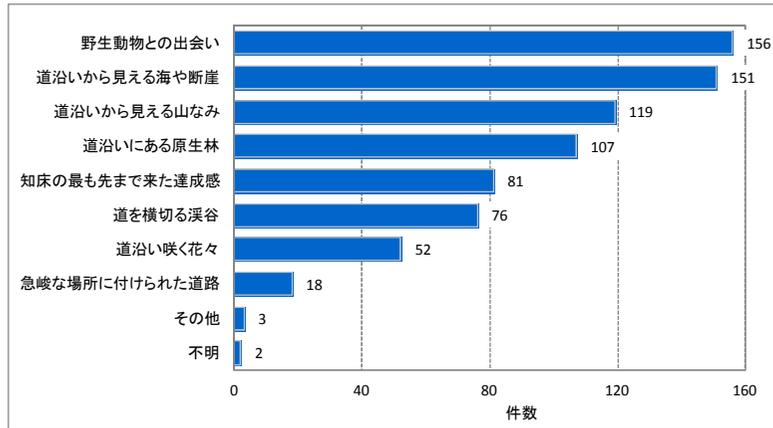
- ・ カムイワッカ湯の滝まで訪れる過程で、カムイワッカ湯の滝以外に訪れるだけの価値のあるものはあったかを尋ねたところ、ほとんどの方があったと回答している。



前記で「あった」と回答した方について

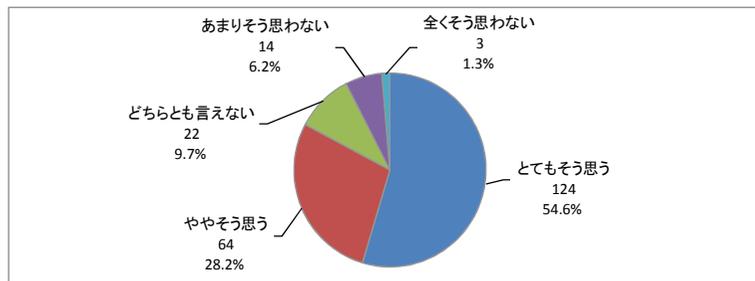
カムイワッカ湯の滝以外に訪れるだけの価値があるものは何か。(n=220、複数回答)

- カムイワッカ湯の滝以外に訪れるだけの価値のあるものとは何かを尋ねたところ、「野生動物との出会い」が最も多く、ほぼ同数で「道沿いから見える海や断崖」となっている。次いで「道沿いから見える山なみ」「道沿いにある原生林」と続いている。



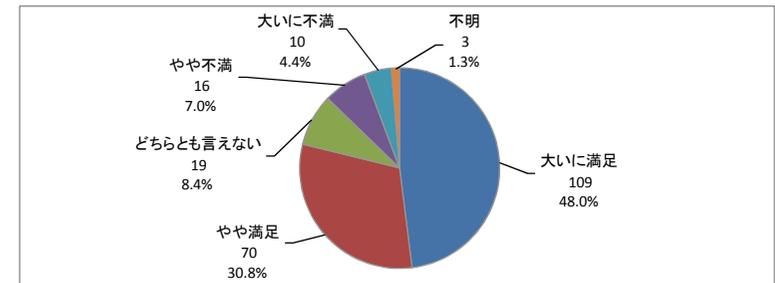
⑱家族や親しい知人に、カムイワッカ湯の滝を紹介したいと思うか。(N=227)

- カムイワッカ湯の滝を紹介したいと思うかを尋ねたところ、「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせて8割以上を占めている。



⑳今回のカムイワッカ湯の滝の訪問で、滝に到る道中から滝の訪問までの全般について満足したか。(N=227)

- カムイワッカ湯の滝の訪問全般に対する満足度については、「大いに満足」「やや満足」を合わせて8割近くが満足している。一方、「大いに不満」「やや不満」を合わせて1割以上が不満としている。



IV. 羅臼湖

1. 調査概要

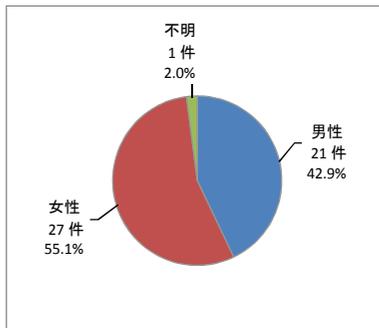
平成 23 年 8～9 月に羅臼湖へ訪れた方を対象に 100 通を配布した。

2. 有効回収率

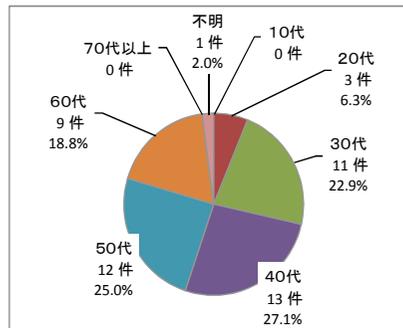
配布数 100 通のうち有効回収数 (N) は 49 通で、有効回収率は 49.0%であった。

3. 回答者属性

①性別 (N=49)

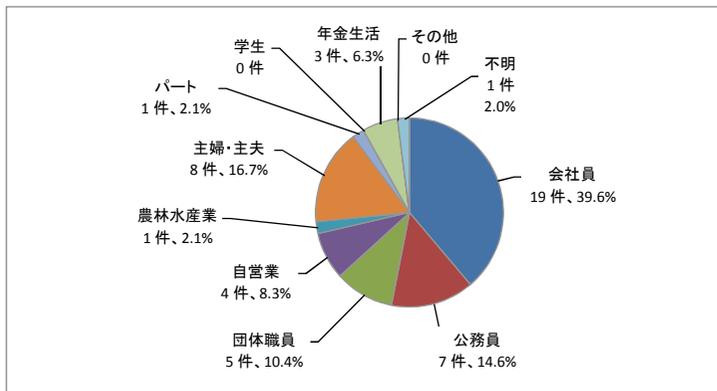


②年齢 (N=49)



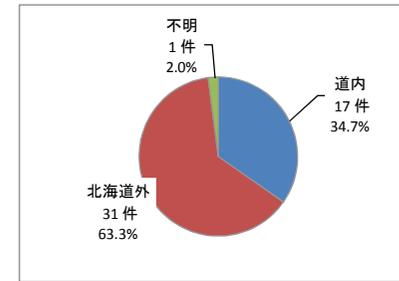
- ・ 男女別では、男性が約 4 割強、女性が約 6 割弱とやや女性が多くなっている。
- ・ 年齢別では、40 代が最も多くほぼ同数で 30 代、50 代、60 代となっている。

③職業 (N=49)

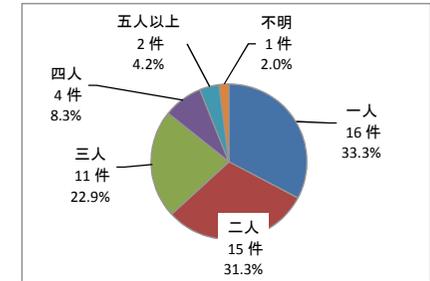


- ・ 職業別では、会社員が全体の約 4 割占めており、次いで主婦・主夫や公務員が多くなっている。

④居住地 (N=49)

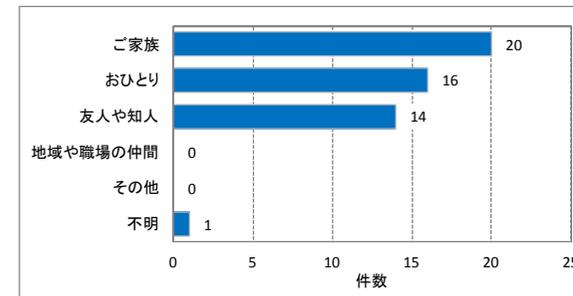


⑤同行人数 (N=49)



- ・ 居住地別では、道外が全体の 6 割以上を占めており、道外利用者が目立っている。
- ・ 一組当たりの人数については、一人または二人が全体の約 1/3 ずつを占めている。次いで三人が 2 割を超えている。

⑥同行グループ (N=49、複数回答)

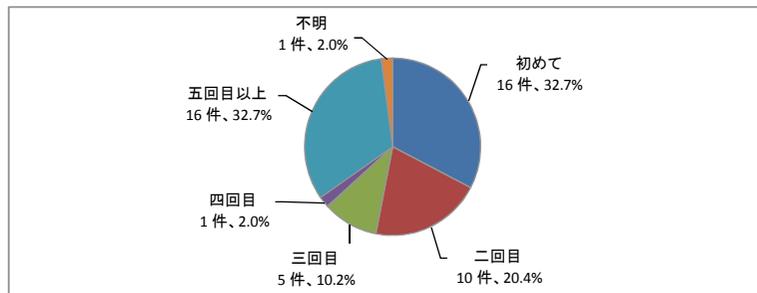


- ・ グループについては、家族が最も多く、次いでひとり、友人や知人となっている。

4. 単純集計結果

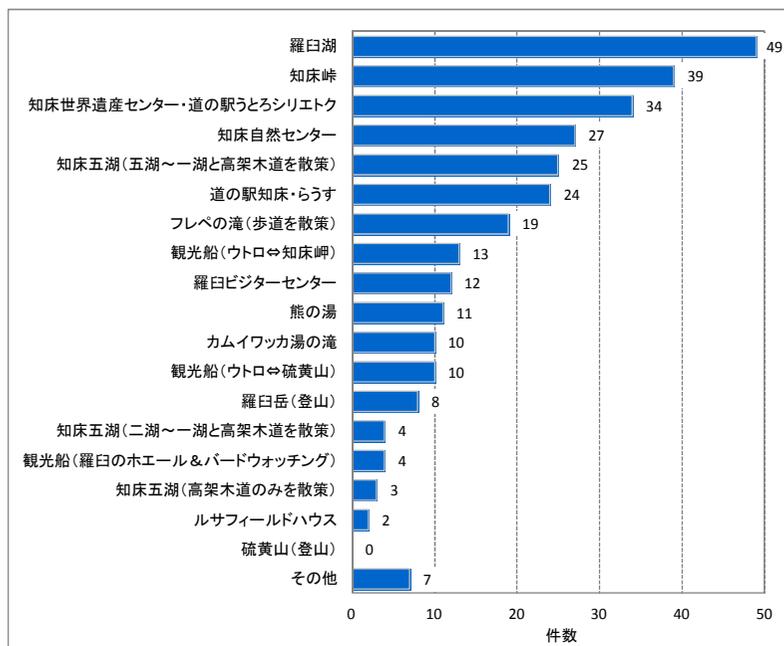
①知床に何回訪問したことがあるか。(N=49)

- 知床への訪問回数については、初めての訪問者と五回目以上のリピーターが同数で最も多く、合わせて全体の6割以上を占めている。



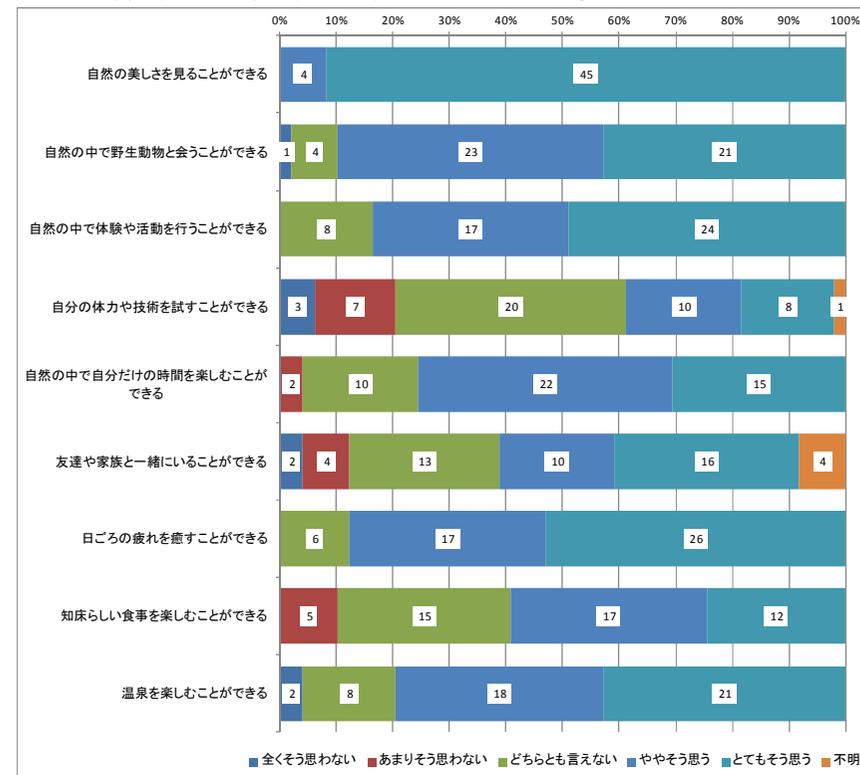
②今回の訪問で知床のどこを訪れたか。(N=49、複数回答)

- 今回の知床訪問で訪れた羅臼湖以外の具体的な場所については、知床峠が最も多く、次いで、知床世界遺産センター・道の駅うしろシリエトク、知床自然センターと続いており、知床五湖や道の駅知床・らうすも多くなっている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。



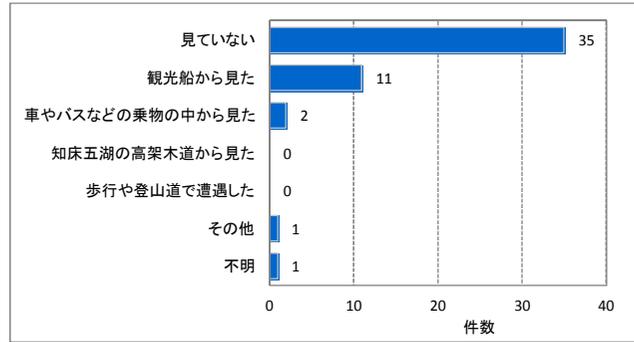
③知床への訪問動機について当てはまるものはどれか。(それぞれN=49、グラフ内の数字は件数)

- 知床への訪問動機については、自然の美しさを見ることを期待した方が最も多くみられ、次いで、野生動物との出会い、日ごろの疲れの癒し、自然の中での体験や活動、自然の中で自分だけの時間を楽しむこと、温泉などを楽しむ方が目立っている。



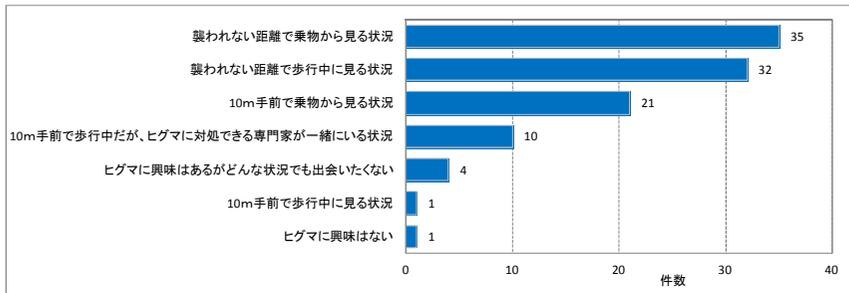
④今回、知床で野生のヒグマを見たか。(N=49、複数回答)

- ・ 今回ヒグマに出会ったかについては、「見ていない」が最も多くなっている。次いで「観光船から見た」



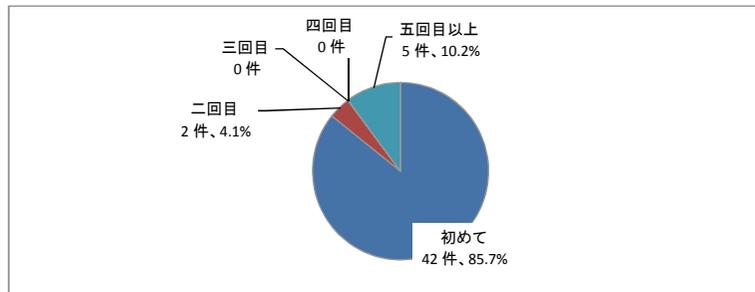
⑤どのような状況ならば、ヒグマに出会っても構わないと思うか。(N=49、複数回答)

- ・ どのような状況でのヒグマとの遭遇であれば許容できるかと尋ねたところ、「襲われない距離で乗物から見る状況」が最も多く、次いでほぼ同数で「襲われない距離での歩行中に見る状況」と続いている。



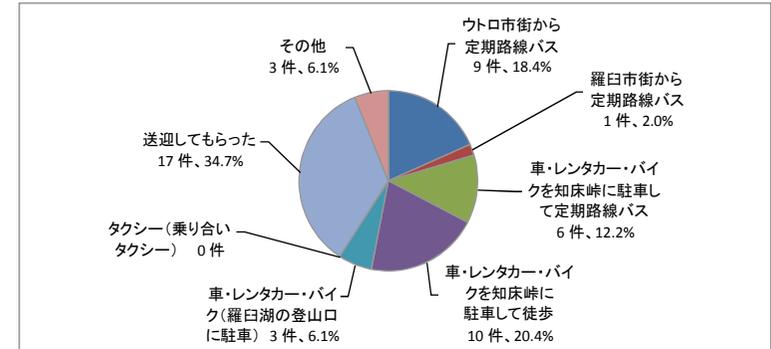
⑥羅臼湖に何回訪問したことがあるか。(N=49)

- ・ 羅臼湖への訪問回数については、初めての訪問が最も多く、全体の8割以上を占めている。次いで五回目以上が1割と続いている。



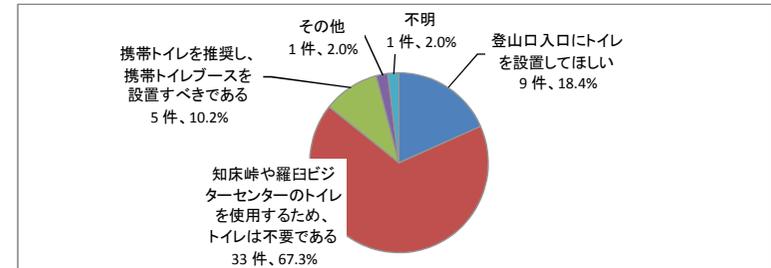
⑦羅臼湖の登山口までの交通手段は何か。(N=49)

- ・ 羅臼湖の登山口までの交通手段については、「送迎してもらった」「車・レンタカー・バイクを知床峠に駐車してから、徒歩や定期路線バス」が多く、どちらも3割以上を占めている。次いで「ウトロ市街から定期路線バス」と続いている。



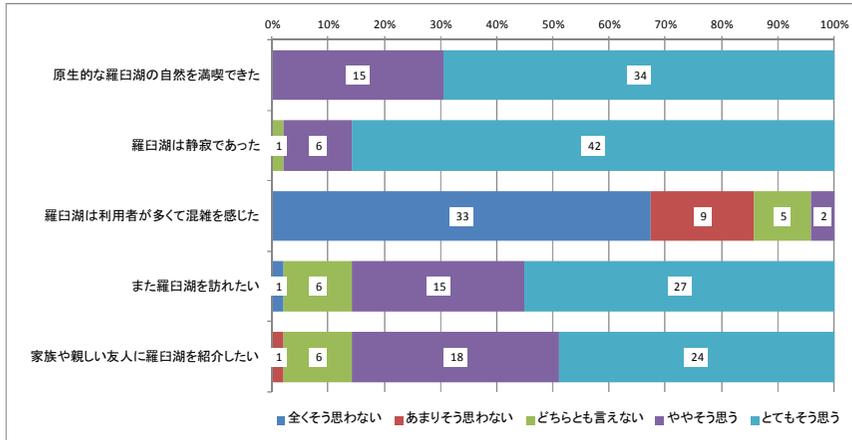
⑧羅臼湖にトイレがないことについてどう思うか。(N=49)

- ・ 羅臼湖にトイレがないことについては、「知床峠や羅臼ビジターセンターのトイレを使用するため不要」が7割近くを占めており、「登山口入口にトイレを設置してほしい」を大きく上回っている。



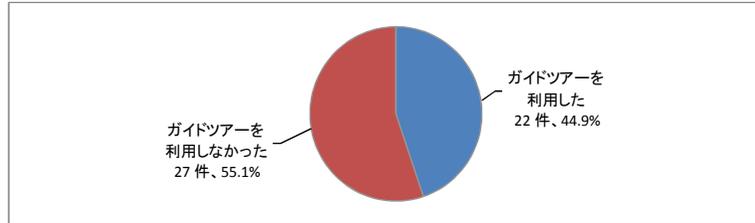
⑨羅臼湖についてどう思うか。(それぞれN=49、グラフ内の数字は件数)

- 羅臼湖についてどう思うかについて尋ねたところ、多くの利用者が自然を満喫できた、静寂だった、混雑を感じない、また訪れたい、近親者に紹介したいと回答している。



⑩今回の羅臼への訪問で「ガイドツアー」を利用したか。(N=49)

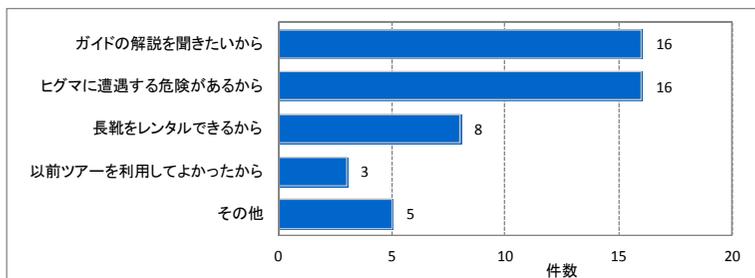
- 今回の羅臼湖訪問でガイドツアーを利用したかについては、若干、ツアーを利用しなかった方が多かったが、ほぼ同程度の割合となっている。



⑩で「ガイドツアーを利用した」と回答した方について

⑪ガイドツアーを利用した理由は何か。(n=22、複数回答)

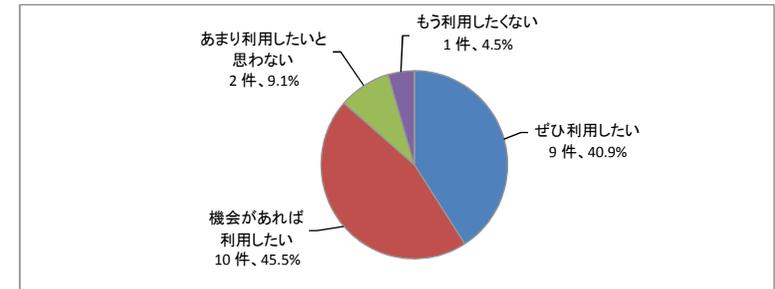
- 羅臼湖訪問に際してガイドツアーを利用した理由については、「ガイドの解説を聞きたい」「ヒグマに遭遇する危険がある」が同数で最も多くなっている。



⑩で「ガイドツアーを利用した」と回答した方について

⑫またガイドツアーを利用したいと思うか。(n=22)

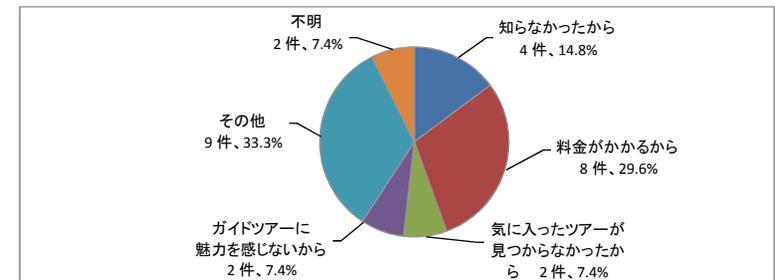
- また羅臼湖に行く際にガイドツアーを利用したいか尋ねたところ、「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」との回答を合わせ9割近くを占めている。



⑩で「ガイドツアーを利用しなかった」と回答した方について

⑬ガイドツアーを利用しなかった理由は何か。(n=27)

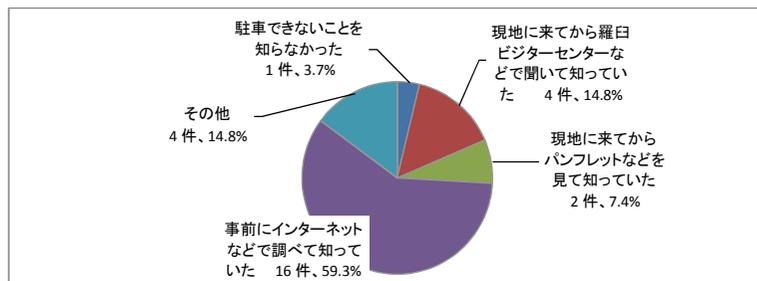
- 羅臼湖訪問に際してガイドツアーを利用しなかった理由については、「料金がかかる」が最も多く3割を占めている。次いで「知らなかった」となっている。
- その他については、「必要がない、一人でできる」「自由に動けない、団体行動は好きではない」などが挙げられている。



⑩で「ガイドツアーを利用しなかった」と回答した方について

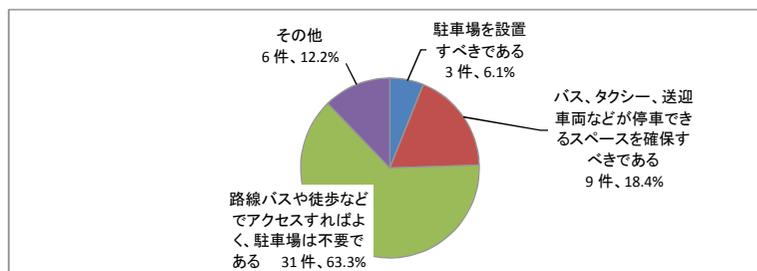
⑭ 羅臼湖の登山口に駐車できないことを知っていたか。(n=27)

- ・ 羅臼湖の登山口に駐車できないことを知っていたか尋ねたところ、「インターネットで調べて知っていた」が6割で最も多く、次いで「羅臼ビジターセンターやパンフレットなど現地で知った」となっている。
- ・ その他については、「前から知っていた」などが挙げられている。



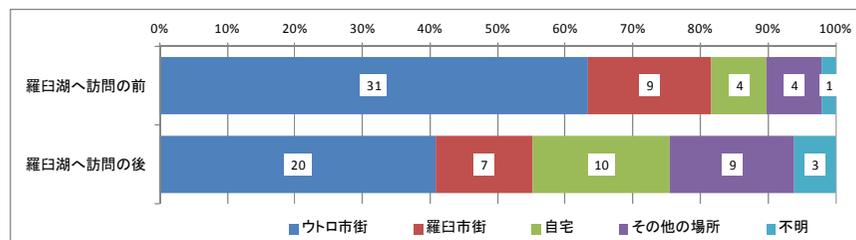
⑮ 羅臼湖の登山口周辺に駐車場がないことについてどう思うか。(N=49)

- ・ 羅臼湖の登山口に駐車場がないことについてどう思うか尋ねたところ、「路線バスや徒歩などでアクセスすればよく、駐車場は不要」が6割以上を占めている。次いで「バス、タクシー、送迎車両などが停車できるスペースを確保すべきである」との回答も2割程度みられる。



⑯ 羅臼湖への訪問前後はどこに宿泊したか。(それぞれN=49、グラフ内の数字は件数)

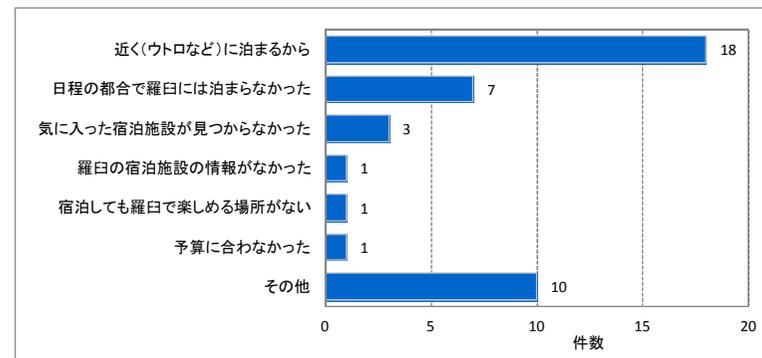
- ・ 羅臼湖への訪問前後どこに宿泊したかを訪ねたところ、訪問の前後ともウトロ市街が最も多く、訪問の前では6割以上と特に多くなっている。



羅臼で宿泊しなかった方について

⑰ 羅臼の宿泊施設を利用しなかった理由は何か。(n=31、複数回答)

- ・ 羅臼の宿泊施設を利用しなかった理由については、「ウトロなど近くに泊まる」が最も多くなっており、次いで「日程の都合で泊まらなかった」となっている。
- ・ その他については、「公共交通のアクセスが悪い」「夜行バス往復利用」「宿泊場所が他にある」などが挙げられている。



⑱ 羅臼湖についての感想・意見 (n=31、自由回答)

- ・ 登山道と書いてあるので、登山かと思いました。
- ・ 羅臼湖の出入口に長靴を洗う施設が必要です。(トレッキングシューズなどの靴底の土も落とせるようにする) 外来植物が入り込むのを防ぐとともに、利用者の長靴の泥を流すことで利便性を高める。
- ・ 天気が良く最高でした。ただ、木道が整備されればもっと来やすくなると思います。(ただそうすると人が多くなるのでしょうか)
- ・ 知床五湖は有名になりすぎ、観光客がいっぱい。それに比べて羅臼湖は知られていないし全てにおいて不便さを感じる。だけどそれでいいと思う。色々な面で頑張らなければいけない。それだけに美しく感じる。
- ・ 歩道を整備してほしい。
- ・ 濃霧のため広がる景色は楽しめなかったが、厳しい自然環境を感じ取ったり、人が入ることで少しずつ変わっていく環境があったりすることを知り、改めて考えさせられた。
- ・ 登山道をもう少し整備してほしい。ガイド付きでなければ危険である。
- ・ 今のままあまり多くの人が来ない方がいいが、木道で危険なところは直した方がいいと思う。トイレはない方がいい。峠のトイレでいいが、峠と登山口の間をもっと交通のよい方法があるといい。
- ・ 木道が崩れているところが沢山あり、危ないと感じた。トイレ、駐車場は作ると動物に会える可能性が減りそうなので今のままでいい。
- ・ 湖の登山口が目立たないので、看板を立てて分かりやすくしてほしい。
- ・ 雄大な景色が良かった。
- ・ 感動的な景色でした。季節をかえてまた来てみたいです。
- ・ 親友や家族に特に紹介したくない理由は、「気楽に登れるところではない」ためである。
- ・ 木道の老朽化が著しい。木道があるのは立派だが。
- ・ 自然の中でトレッキングができて、視界が開けて湖が見えた時はとても感動しました。苦労があるからこそ見られる湖は素敵です。帰り道でペットボトル(ウーロン茶)のゴミを見つけて

残念な思いをしました。(持ち帰りました)

- アクセスが便利になりすぎると、人が多くなり今のような静けさが失われてしまうので、難しいところですね。
- 木道の整備。羅臼に向かうバスのバス停の位置は、より登山口に近づけるべきではないか。
- 新たな遊歩道を作るという話を聞きましたが、これ以上自然を破壊することはやめて下さい。駐車の問題などだと思いますが、それもこれも自然遺産に登録して人が増えたからでしょ。登録は抹消すべきです。遺産登録から歩道の掘れ方がひどくなっています。必要以上に人を入れなして下さい。ガイドを付けて入れるのは知床五湖だけにして下さい。お願いします。
- 「観光地」となっていないからよい。確かに歩きづらい道が多いが、だからこそ人が入り過ぎなくてよい。
- 木道の整備（破壊している場所が多い）が必要と思います。
- 小鳥の声しか聞こえない美しい羅臼湖と原生林を守る努力をしておられることを知り感動しました。幸運にも熊の親子連れ、鹿、キタキツネ、リス、そして羅臼川にて鱒にも遭遇でき、知床の自然を満喫できる旅になりました。また、ぜひ訪問させて頂きたいと思います。
- 湿原を守るための最低限の木道整備とし、できるだけ自然のままとする。遠方より飛行機で来るものは、長靴を持ってくることは荷物がかさばり大変なので、知床自然センターなどで貸出していただければありがたいと思います。入山届箱の位置がわかりにくかった。もっと入口近くでもよいのでは。
- 非常によい所だと思います。今のままの自然を維持してほしいです。団体客が立ち寄りするような場所には全体になってほしくないで、今のままの不便さを保ち続けてほしい。トイレはあった方が助かりますが、簡易トイレの持参（有料で現地やビジターセンター等で販売するのもありかも）をもっと積極的にアピールしてみたいかがでしょうか。
- とても良い所でした。あの自然をぜひ守ってほしい。
- 木道を修繕していた業者の方、大変ご苦労様です。
- お天気に恵まれ良い写真が撮れました。
- クマの生息地、天候的には悪路になる。これらマイナス要素で多くの人には来ないと思いますが、団体が来られる場所になれば魅力はなくなります。マイナーの今の状況でいいのではないのでしょうか。
- 原生林に近いものを見たいと思うのですが、腐っている木道は出来たら直してもらえたらと思います。途中、沼に映る羅臼岳はすばらしく、湿原を歩ける幸せを満喫できました。
- 非常に良い環境でした。改変は最小限に。
- 木道の整備をもう少ししてほしい。現状では登山靴よりも長靴が必要と言われ、宿で借りて行った。
- 知床五湖もすばらしいけれど、団体さんが多く観光化されている感じ。羅臼湖は人がいなくて、少しワイルドで本当に感動しました。

V. 羅臼宿泊施設

1. 調査概要

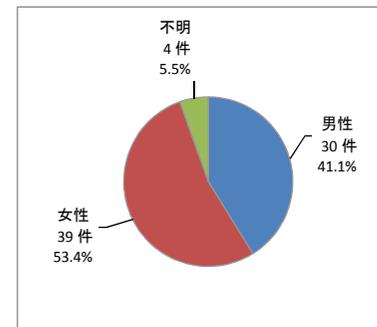
平成 23 年 8 月に羅臼地区の宿泊施設を利用した方を対象に 200 通を配布した。

2. 有効回収率

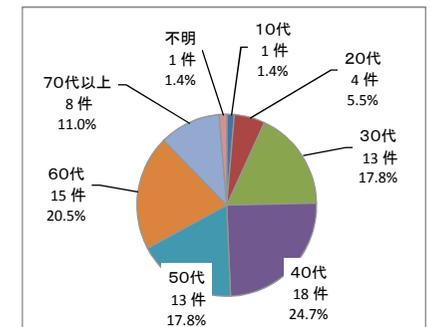
配布数 200 通のうち有効回収数 (N) は 73 通で、有効回収率は 36.5%であった。

3. 回答者属性

①性別 (N=73)

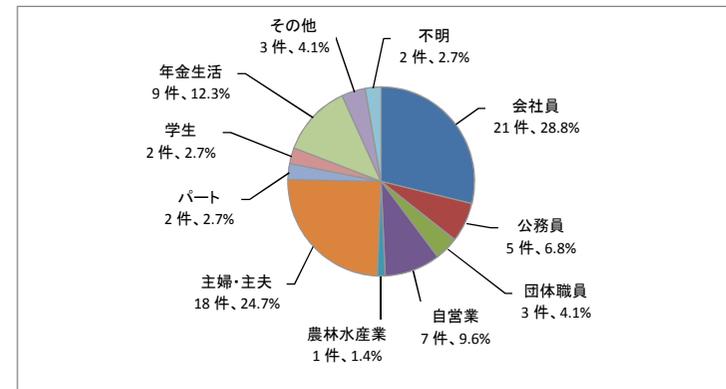


②年齢 (N=73)



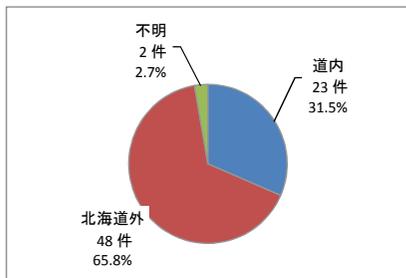
- 男女別では、男性が約 4 割、女性が約 5 割とやや女性が多くなっている。
- 年齢別では、40 歳代が最も多く全体の 1/4 を占めている。次いで 30 代、50 代、60 代がそれぞれ 2 割前後を占めている。

③職業 (N=73)



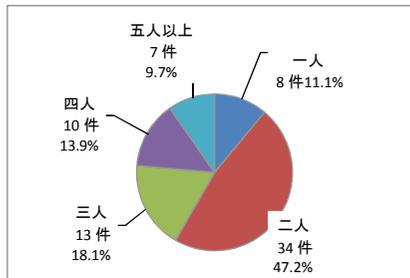
- 職業別では、会社員、主婦・主夫で全体の半数を超えており多くなっている。

④居住地 (N=73)



- ・ 居住地別では、道外が全体の7割弱に迫っており、道外利用者が目立っている。
- ・ 一組当たりの人数については、二人が最も多く全体の半数に迫っている。次いで、三人、四人と続いている。

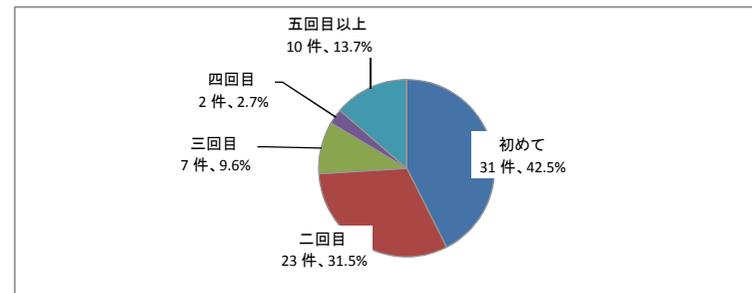
⑤同行人数 (N=73)



4. 単純集計結果

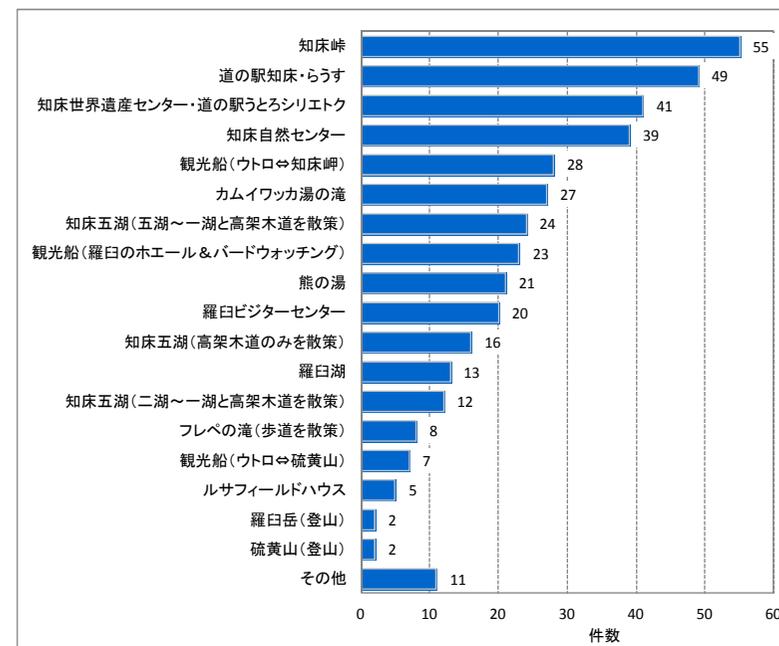
①知床に何回訪問したことがあるか。(N=73)

- ・ 知床への訪問回数については、初めての訪問者が最も多く全体の4割以上、次いで二回目という訪問者が全体の3割と続いている。また、五回目以上のリピーターも1割以上みられる。

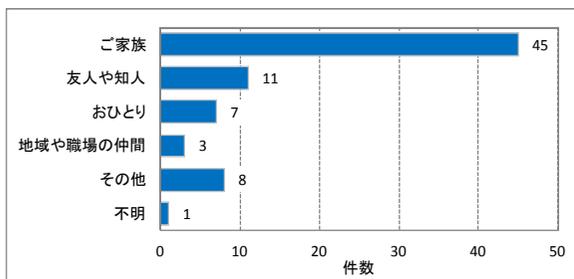


②今回の訪問で知床のどこを訪れたか。(N=73、複数回答)

- ・ 今回の知床訪問で訪れた景勝地等の具体的な場所については、知床峠が最も多く、次いで、道の駅知床・らうす、知床世界遺産センター・道の駅うしろシリエトク、知床自然センターと続いている。羅臼、ウトロに跨ってシンボリックな場所及び売店・情報発信機能等を備えた複合施設に多くの観光客が立ち寄っていることが窺える。



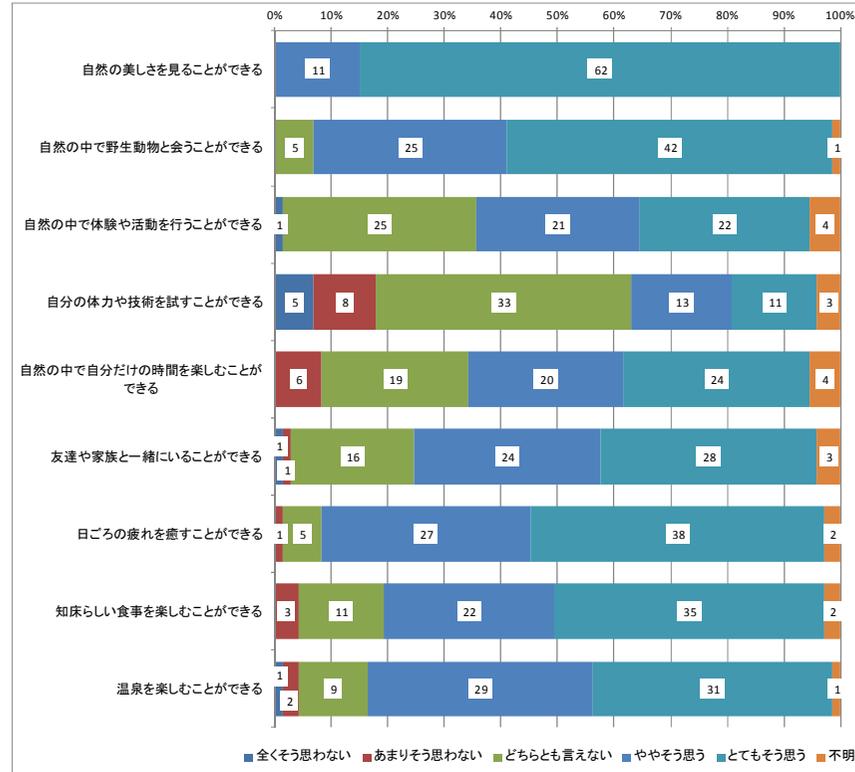
⑥同行グループ (N=73、複数回答)



- ・ グループについては、家族が最も多く、次いで友人や知人、ひとりと続いている。
- ・ その他については、「ツアー」が挙げられている。

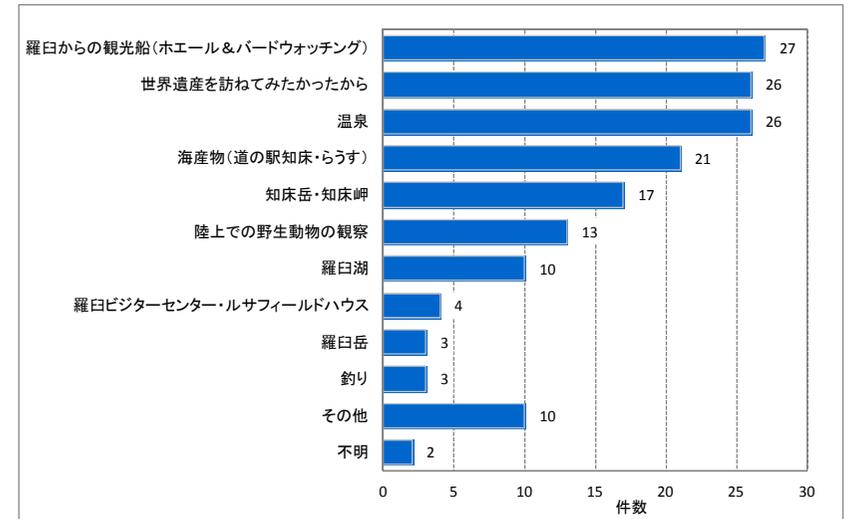
③知床への訪問動機について当てはまるものはどれか。(それぞれN=73、グラフ内の数字は件数)

- 知床への訪問動機については、自然の美しさを見ることを期待して訪問した方が最も多く見られ、次いで、野生動物との出会い、日ごろの疲れの癒し、食事や温泉を楽しむ方が目立っている。



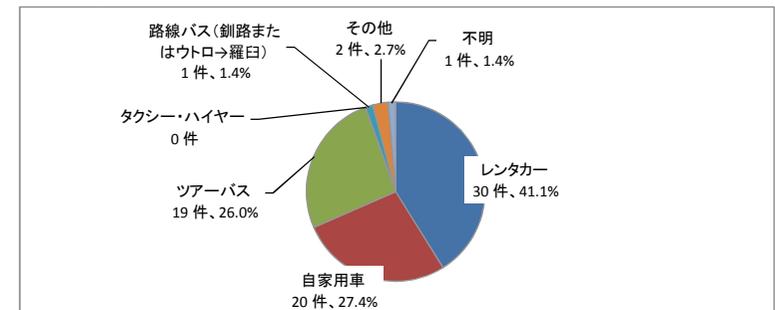
④羅臼を訪れた目的は何か。(N=73、複数回答)

- 羅臼を訪れた目的については、「羅臼からの観光船」が最も多く、次いで「世界遺産を訪ねてみたかった」「温泉」が多くみられた。



⑤羅臼に来る直前の交通手段は何か。(N=73)

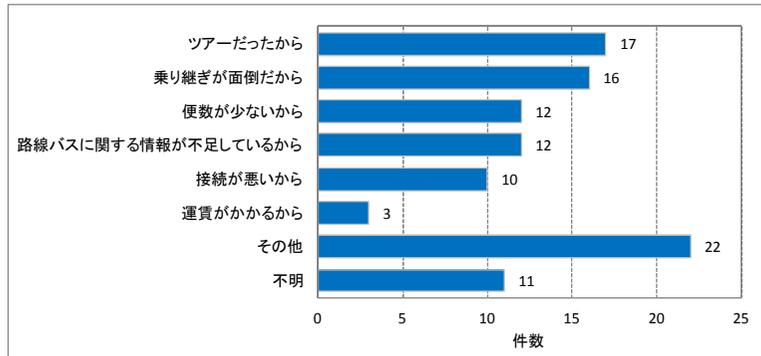
- 羅臼に訪問する直前の交通手段については、レンタカー利用者が最も多く4割以上を占めている。次いで、自家用車、ツアーバスと続いている。



⑤で「路線バス」以外を回答した方について

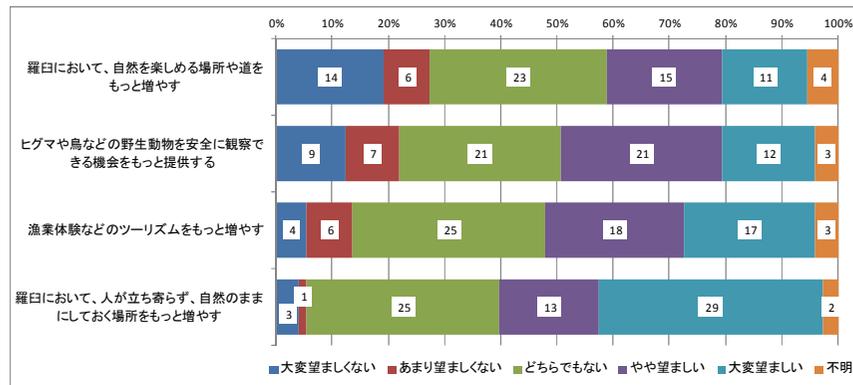
⑥路線バスを使わなかった理由は何か。(n=71、複数回答)

- 前問で路線バスを利用しなかった方に理由を尋ねたところ、「ツアーだったから」「乗り継ぎが面倒だから」が多くみられた。次いで「便数が少ない」「路線バスに関する情報が不足している」などが続いている。
- その他については、「自家用車やレンタカーの方が便利、自由に動ける」「子供がいる」「荷物が重い」などが挙げられている。



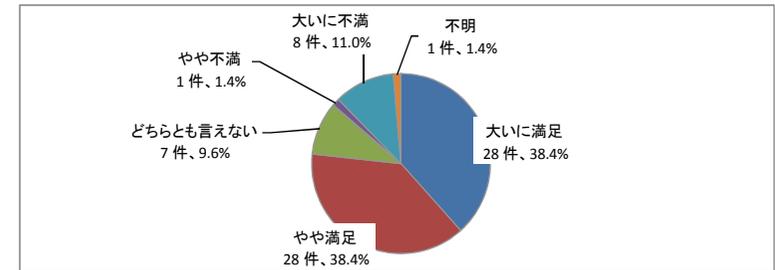
⑦羅臼に関することについて、望ましいと思うか。(それぞれN=73、グラフ内の数字は件数)

- 羅臼地域の今後の課題等について尋ねたところ、人工的な手をかけずに自然をそのままにした上で、自然と親しむ場の提供を望んでいる方が多くみられる。



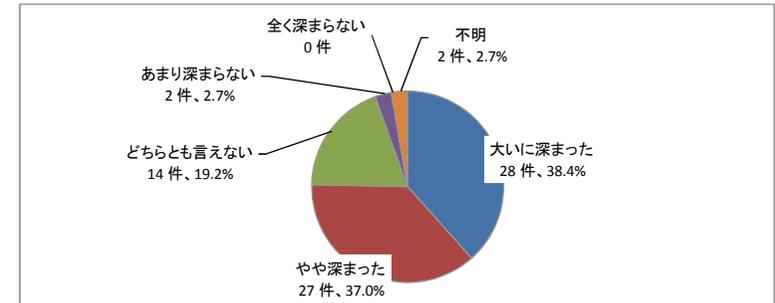
⑧羅臼を訪れて満足したか。(N=73)

- 羅臼訪問の満足度については、「大いに満足」と「やや満足」を併せて8割弱を占めており、多くの方が満足を感じたことが窺える。



⑨羅臼を訪れて、自然保護への興味は深まったか。(N=73)

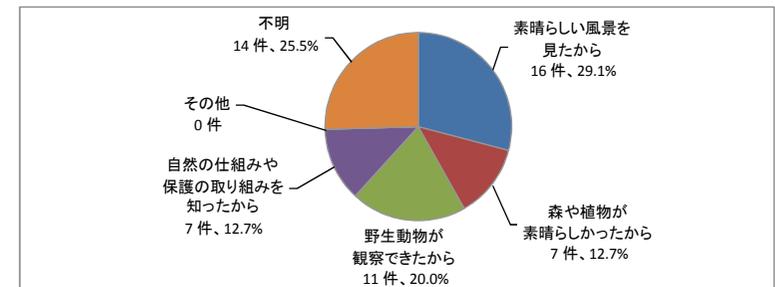
- 羅臼を訪れたことによる自然保護への興味の深まりについては、「大いに深まった」「やや深まった」合わせて8割弱を占めており、今回の訪問を契機に自然保護への関心の高まりがみられた。



⑩なぜ自然保護への興味が「大いに深まった」「やや深まった」と回答した方について

⑩なぜ自然保護への興味が深まったと思うか。(n=55)

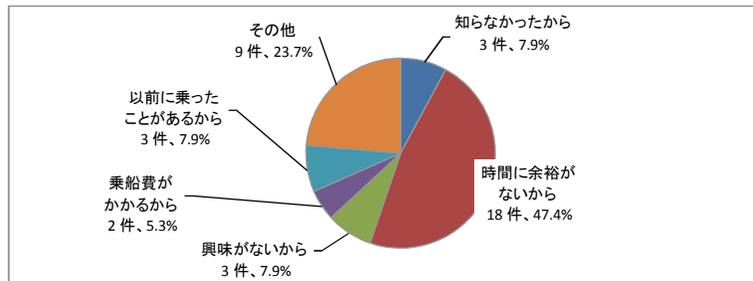
- 自然保護への興味の深まりの理由を尋ねたところ、「素晴らしい風景を見た」が最も多く3割程度、次いで「野生動物の観察ができた」が続いている。



羅臼からの観光船に乗らなかった方について

⑪羅臼の観光船に乗らなかった理由は何か。(n=38)

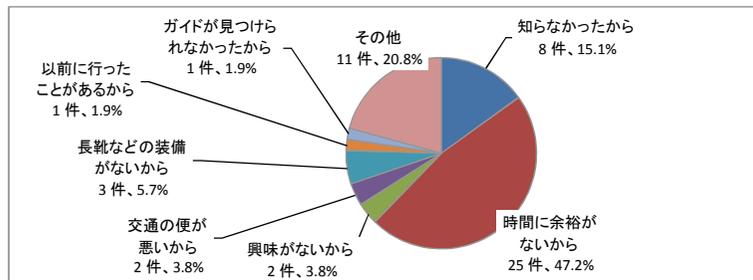
- ・ 羅臼の観光船を利用しなかった理由については、「時間に余裕がない」が最も多く半数近くを占めている。
- ・ その他については、「ツアーに組み込まれていない」「ウトロから乗船した」などが挙げられている。



羅臼湖に行かなかった方について

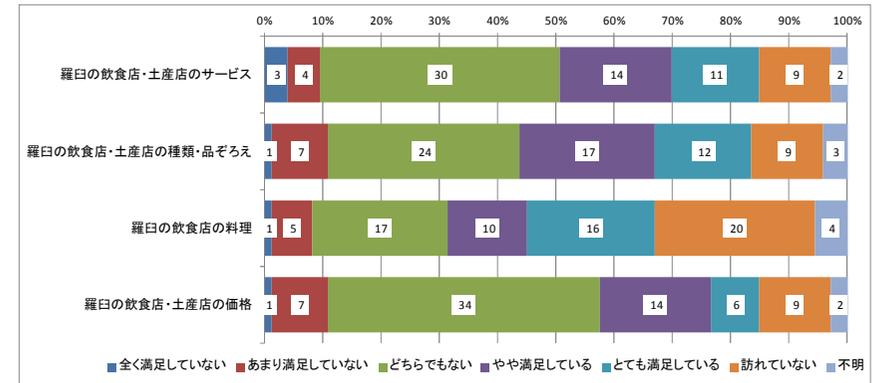
⑫羅臼湖に行かなかった理由は何か。(n=53)

- ・ 羅臼湖に行かなかった理由については、「時間に余裕がない」が最も多く半数近くになっている。次いで「知らなかった」がやや多くなっている。
- ・ その他については、「ツアーに組み込まれていない」などが挙げられている。



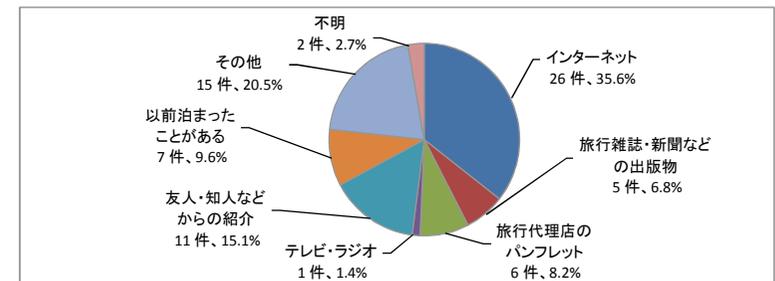
⑬羅臼の飲食店・土産店について満足できたか。(それぞれN=73、グラフ内の数字は件数)

- ・ 羅臼の飲食店・土産店の満足度については、明らかに満足していないという利用者は少ないものの、どちらでもないという回答が比較的多くみられる。種類・品ぞろえについては満足している回答がやや多くみられ、飲食店の料理については、利用した方では満足している回答が多い反面、飲食店を訪れていない方も多くみられる。



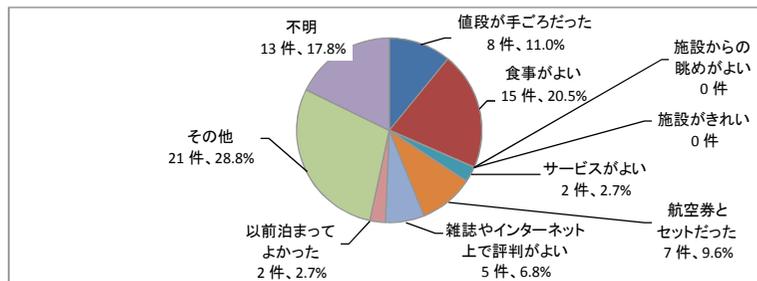
⑭今回泊まった宿泊施設をどちらで知ったか。(N=73)

- ・ 今回利用した宿泊施設情報の入手先については、インターネットが最も多く4割に迫っている。次いで「友人・知人からの紹介」「以前泊まったことがある」「旅行代理店のパンフレット」が続いている。
- ・ その他については、「ツアーに組み込まれていた」「観光協会」などが挙げられている。



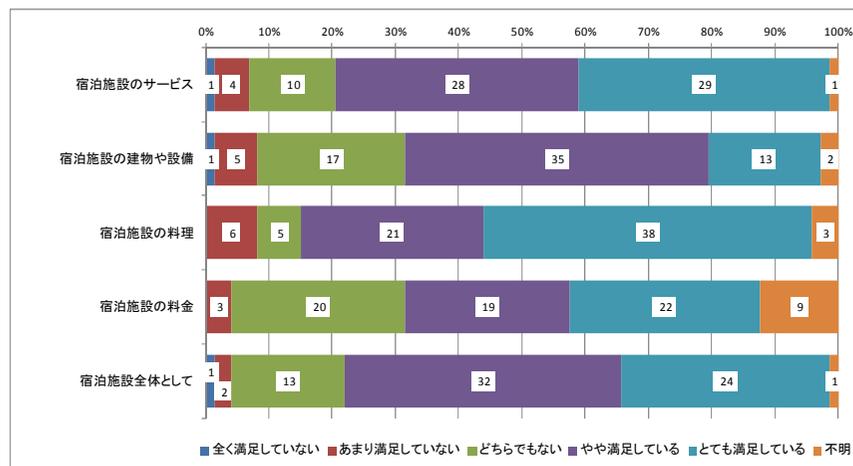
⑮今回泊まった宿泊施設を選んだ理由は何か。(N=73)

- ・今回利用した宿泊施設を選んだ理由については、「食事がよい」が最も多く2割を占めている。次いで「値段が手ごろ」「航空券とセット」「雑誌やインターネット上で評判がよい」が続いている。
- ・その他については、「ツアーに組み込まれていた」「温泉がある」などが挙げられている。



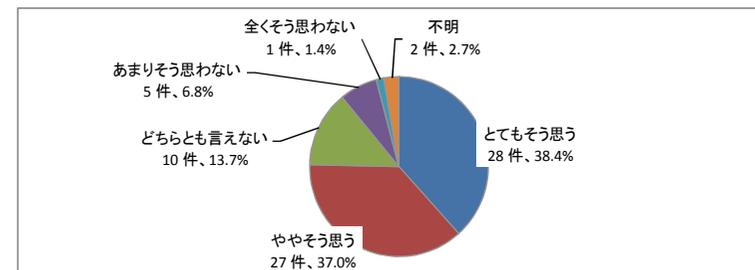
⑯今回泊まった宿泊施設について満足できたか。(それぞれN=73、グラフ内の数字は件数)

- ・今回利用した宿泊施設の満足度については、全体として満足している傾向がみられる。個別では料理の内容やサービスについて高い評価が得られている。



⑰家族や親しい友人に、今回泊まった宿泊施設を紹介したいと思うか。(N=73)

- ・今回利用した宿泊施設を紹介したいか尋ねたところ、「とてもそう思う」「ややそう思う」を合わせて3/4を占めており、概ね高い評価となっている。



⑱羅臼地区についての感想・意見 (n=33、自由回答)

- ・もう少し観光客に対しての対応（体験や見学のポイント）を多くしてほしい。
- ・前は雪で知床より羅臼に行けなかったのでもう知床峠を越えたかった。ホエールウォッチングしたかった。見られなくて残念でした。また、機会あれば・・・。
- ・観光地としてとても素晴らしいので、道の駅等の施設をもっと充実させた方がよい。クジラ、シャチが間近に見られることをもっとアピールした方がよい。羅臼昆布を使ったオリジナルクラムチャウダーなどグルメを充実させる。「昆布の森」水族館など。
- ・ホエールウォッチングを試みたのですが、高額のため断念しました。特に小さい子連れの場合、船酔いなども心配のため、値段もそうですが短い時間で「プチホエールウォッチング」ができるプランがあるとよいです。お料理の美味しい宿（峰の湯）でした。もう少し天ぷらなど揚げたてで温かいとよいと思います。
- ・宿泊施設の料理は驚くほどおいしかった。
- ・また来たいのでその時は宜しくお願いします。
- ・夕方着いたのでこれから見ます。温泉は大変疲れが取れて良かったです。2度目の訪問ですので、これからヒカリゴケをみてあとはまだ未定。
- ・ビジターセンターが良かった。スタッフの方は親切に羅臼湖について教えてくれたし、展示物は勉強になった。「食」が期待していたより低かった。レストラン等、充実させてほしい。
- ・観光資源はあるにも拘らず、的が絞られていない。もっと自然を前面に売り出した方がよい。ニュージーランドを参考に。例：遊歩道の拡充（ロングトレイル、木道、指示看板）、バスダイヤの周知、温泉手形・・・。
- ・とても料理がおいしかったです。また来たいです。
- ・貴重な自然をこれからも大切にしてください。
- ・知床の自然が凄い。思っていたよりはるかに大きいし、ネイチャーガイドさんの「力」で守られているんだなあ実感！ありがとうございました。羅臼はいつまでもこのままで。冬来てみたいです。
- ・温かみが少ない。会話がなく事務的だ。特にフロント男性。
- ・ルサフィールドや知床自然センターに、ガスや羅臼岳の地図などトレッキング用品の物販を充実してもらえれば登山客がもう少し来ると思いました。
- ・車がない観光客にとっては、移動の手段がなく不便。案内板（サイン）がなく、分かりにくい。
- ・旅行者をもっと増やすために、市場のセリ、魚の種類、漁師さんの生活等を活かせるガイドさんがいると良いですね。
- ・地元に住んでいるからこそその細かい自然の営みを教えていただき感動でした。市場見学は、魅

力的な内容でした。是非羅臼の魅力を伝える一つとして広げてほしいです。

- 住民の皆さんが親切。
- 10年以上前、釣りに来て民宿に泊まったのですが、その時から比べ大変大型店が多く道の駅も出来て立派になりました。また訪れたいと思います。朝日がステキでした。
- 自然を大事にしている、とても良いと思います。
- 人情豊かで素朴な人柄。ガイドさんはとてもサービス精神旺盛。
- 昆布漁などの体験型ツアーがあると、さらに家族連れ等が関心を持ち、地場産業の活性化にも繋がると思います。
- 山、海がある（近い）ところが良い。
- もう少しお店を増やしては！少し淋しい気がする。
- 清水端さんの船に大変お世話になりました。とても親切で素晴らしかったです。
- 15年ぶりに訪れたが、変わっていないと思った。ウトロも訪問したが大きく変わっていた。私は変わっていない羅臼に好感を感じる。観光客がバスで次々と訪れる知床になってほしくない。羅臼はウトロとは異なる路線でエコツーリズム、漁業体験、キャンプなど、より密度の高い滞在型、体験型の街にしてほしい。表面的な「観光」を否定するような、レベルの高い自然の街を目指してほしい。
- 熊の湯の湯温が高すぎると思います。浴槽を増設するなど改善を要望いたします。子どもが入浴できるような湯温にしてください。
- カムイワッカの滝は奥まで行けるようにしてほしい。
- 体験学習として、知床岬の制限付き解放。
- 正直言って旅館の設備には期待していませんでしたが、とても素晴らしい施設で感動しました。残念ながらメインのクジラには会えなかったのですが、まるみの船は、一生懸命探して下さりありがたかったです。食事もびっくりするほどの量でとても大満足でした。
- 羅臼湖の木道について、壊れた箇所が多く見られた。海外の人が訪問した時に、このような状態を見られたら、日本人として恥ずかしい。
- 自然を残してほしい。
- ホールウォッチングをしたくて来たが、NETで探して申し込んだツアーが1人、2時間30分/8,000円だった。高いと思いつつ申し込んだが、こちらに来て1人3時間/5,000円があることを知った。悲しい。NET検索でいくつかHITするようにして下さいを切に願います（涙）。

VI. 知床五湖利用のあり方に関するアンケート

（ヒグマ活動期ツアー参加者と2010年も含めた比較）

1. 概要

2011年のヒグマ活動期83日間に行われた登録引率者によるツアーのうち、各月の曜日が均等になるようにサンプリングした23日間に行われたツアーの参加者(228ツアー、1,430人)を対象に、知床五湖フィールドハウスにおける事前レクチャーを終了した参加者に用紙を手渡し、郵送での返送を依頼した。1,337人に依頼し、685人より返送があり、652人より有効な回答(48.8%)が得られた。これと、ツアーの非参加者、植生保護期の利用者、2010年の回答との比較を行った。

2. 回答者属性

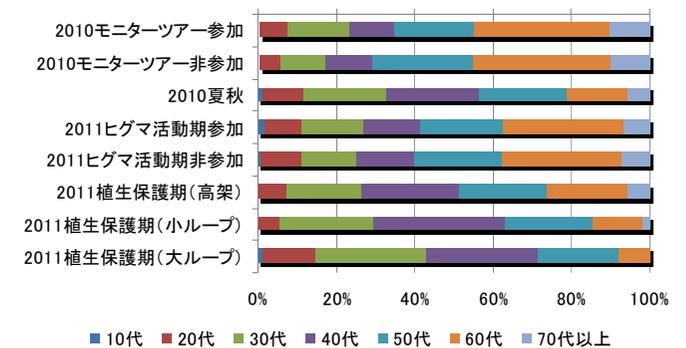


図1：回答者の年代

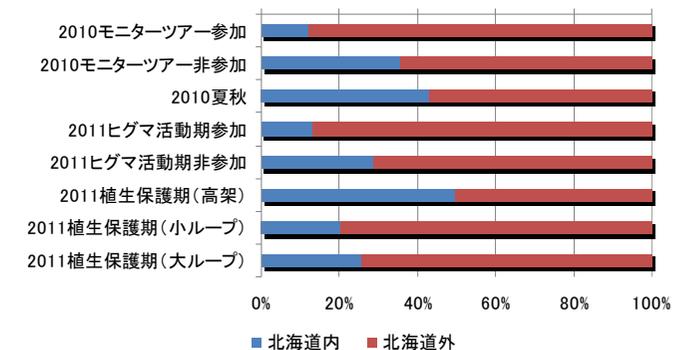


図2：回答者の住まい

3. 旅行形態・認知度・訪問理由

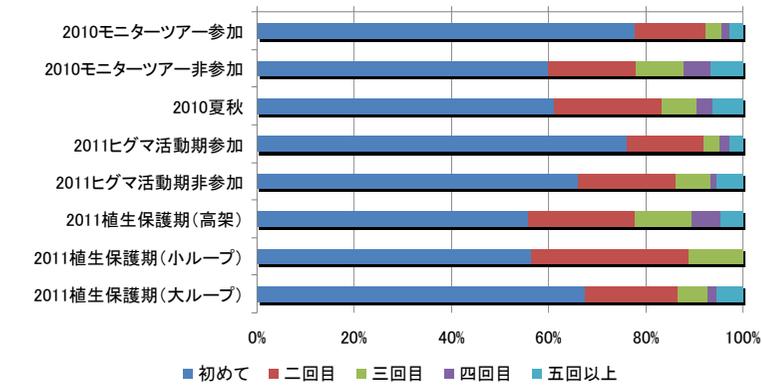


図 3: 回答者の訪問回数

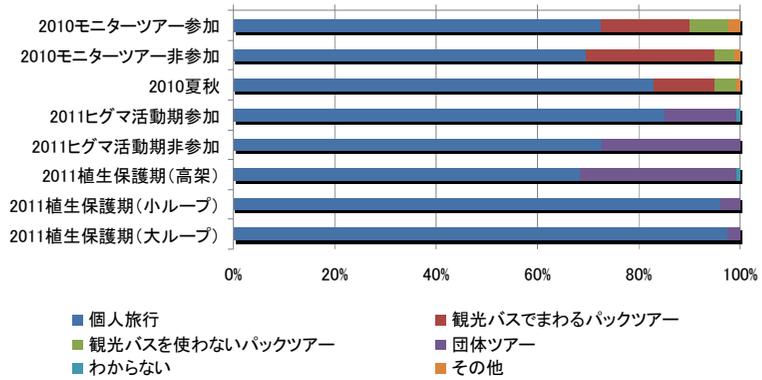


図 4: 回答者の旅行形態

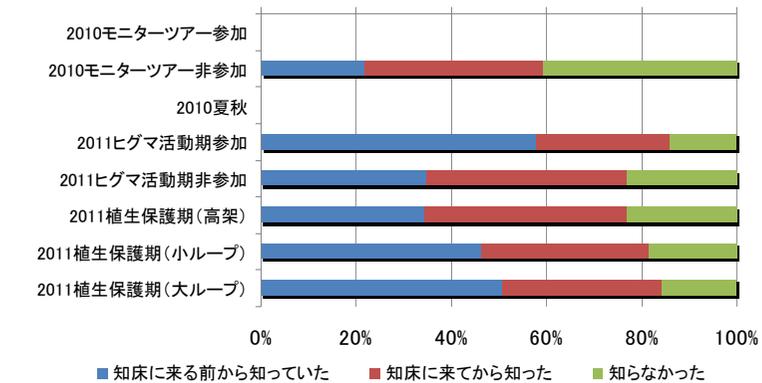


図 5: 制度の認知度

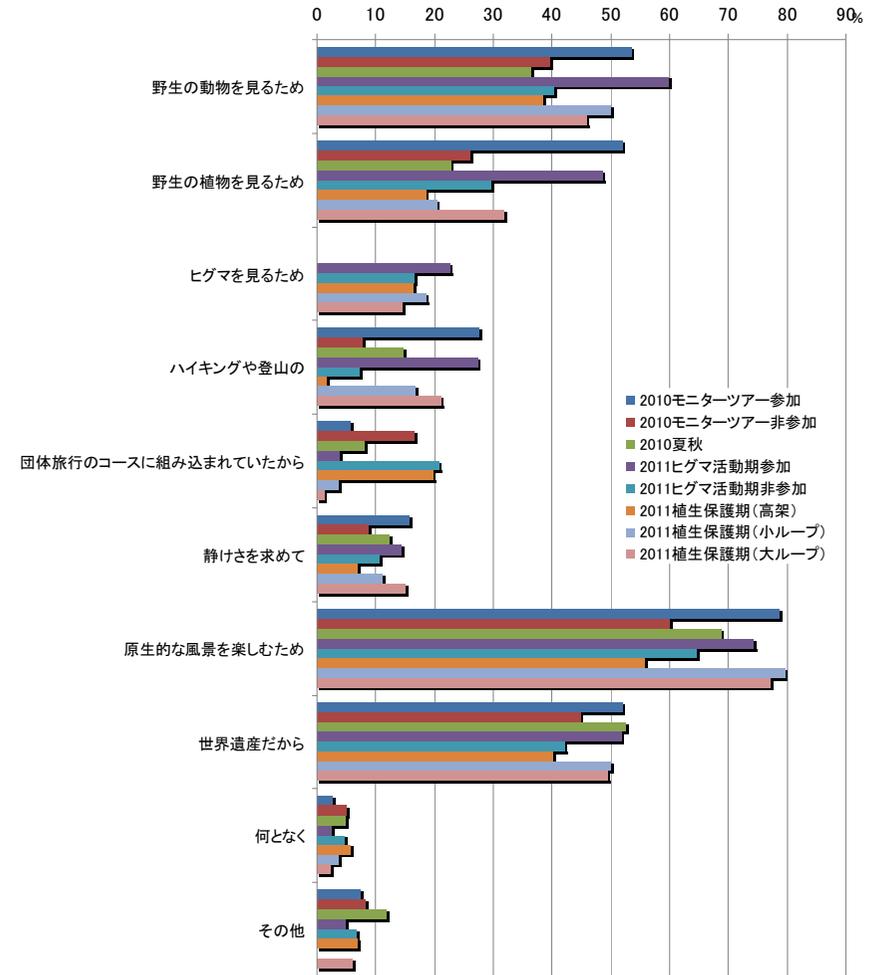


図 6: 回答者の訪問理由

4. 制度の評価・満足度

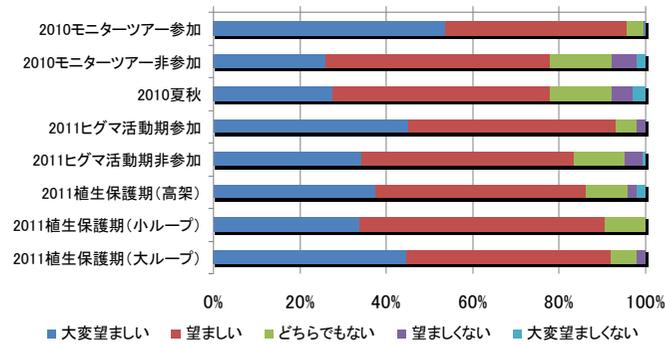


図7: 制度の望ましさ

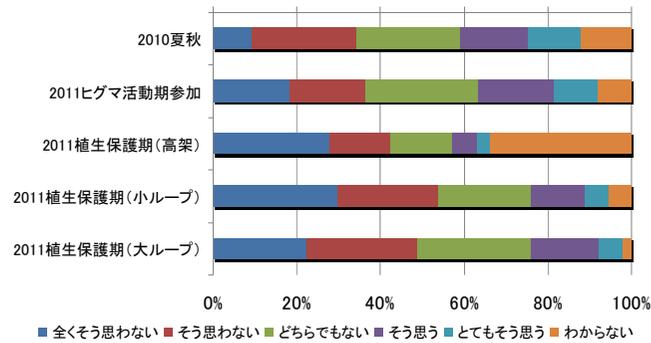


図8: 歩道脇の植物が、踏みつけられていて気になった

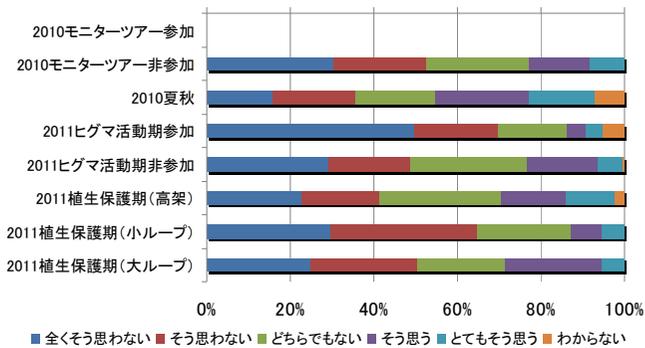


図9: 利用者が多く混雑を感じた (混雑感)

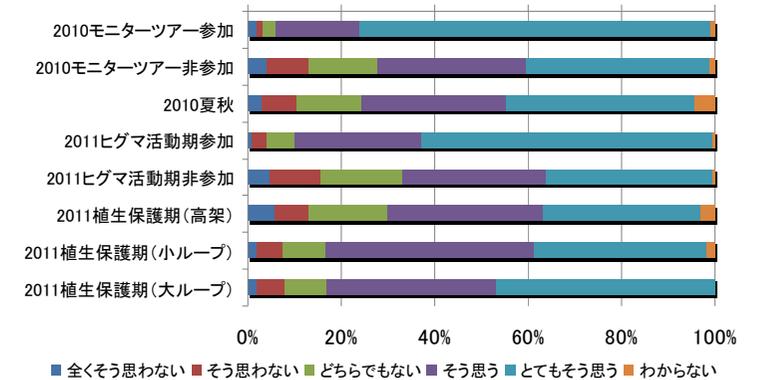


図10: 原生的な五湖の自然環境を満喫出来た (満足度)

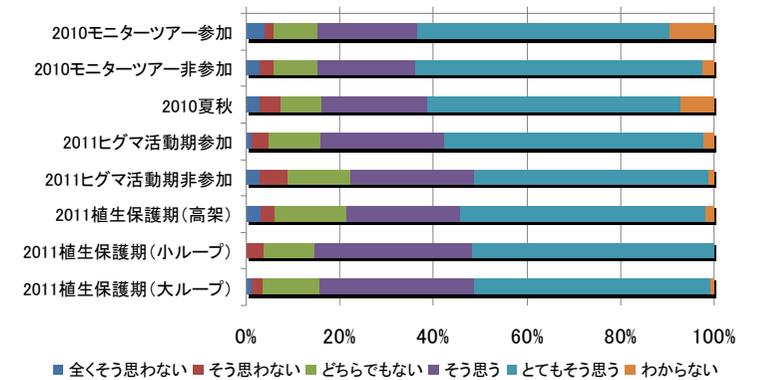


図11: また知床五湖を訪れたい (再訪意欲)

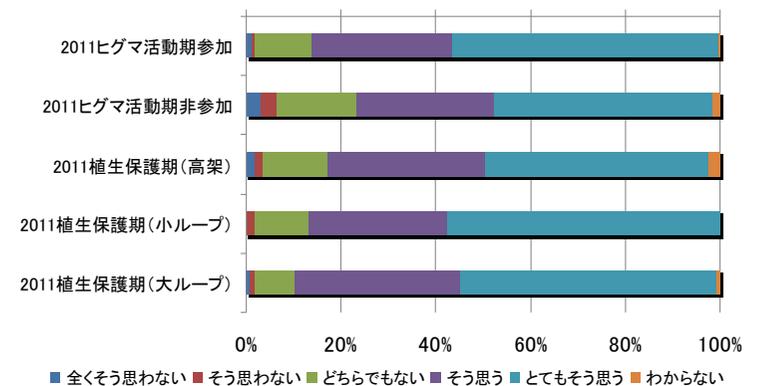


図12: 家族や知人に知床五湖を紹介したい

5. 引率の評価

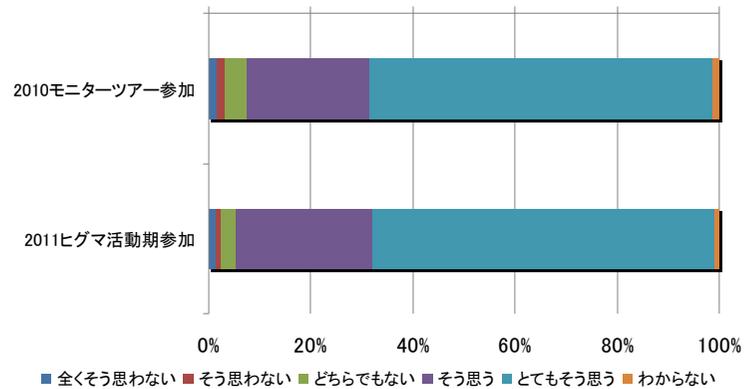


図 13: 受付の手続きやレクチャーはスムーズに行われた

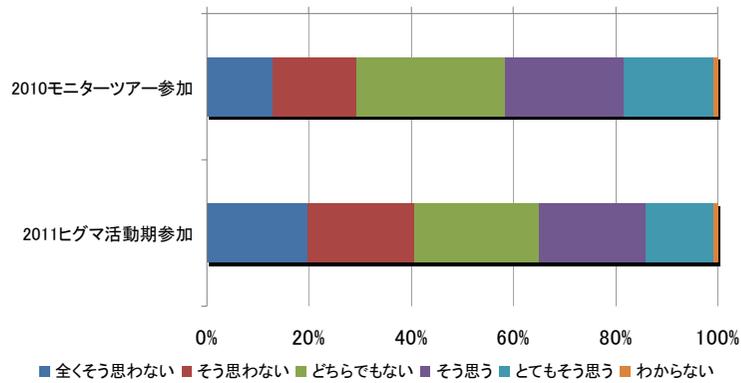


図 14: ツアー参加前は、ヒグマの存在や遭遇が不安だった

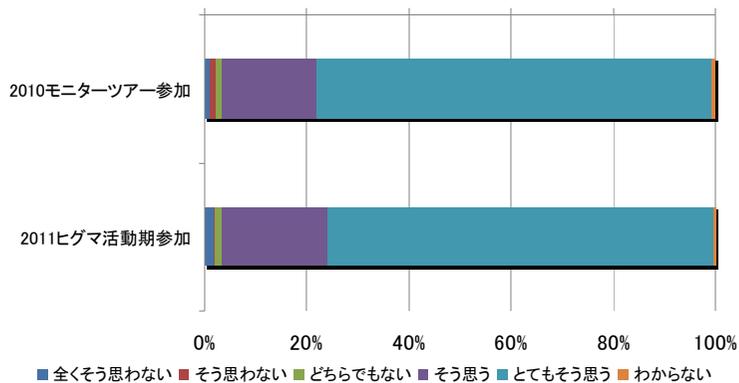


図 15: 引率者の事前の説明は十分であった

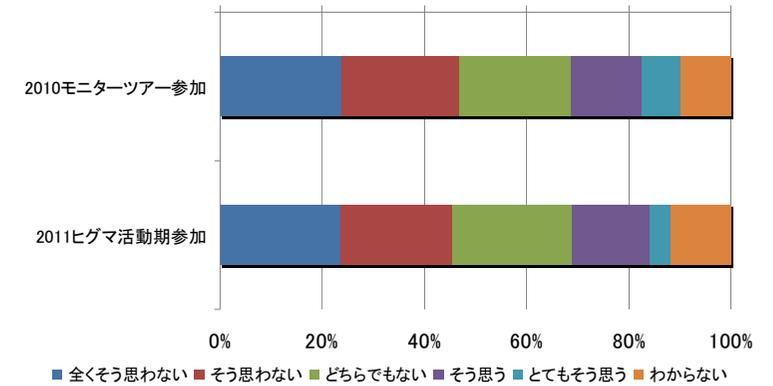


図 16: ヒグマの痕跡などをみた場合に、不安になった

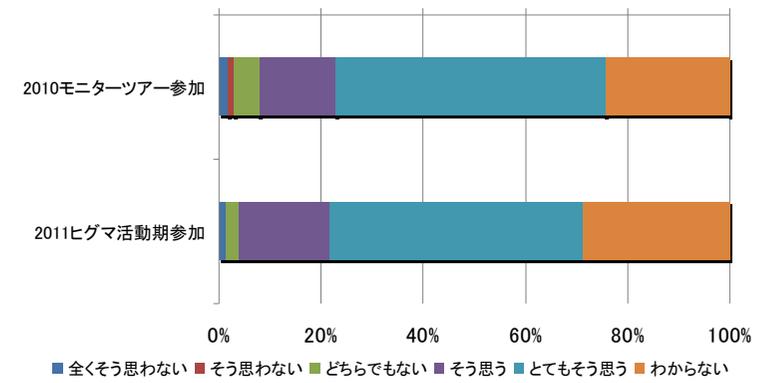


図 17: ヒグマの痕跡などをみた場合に、引率者の対応は十分であった

6. まとめ

利用調整地区の導入は、制度の望ましさ、満足度、再訪意欲が高く、利用者に好意的に受け入れられている。一定水準のサービスの提供において、混雑感3割以下、満足度8割以上が当面の目標値となる。

その一方で、ツアー参加者以外の認知度がやや低く、望ましさも低いことから広報には改善の余地がある。また、歩道脇の踏みつけが3割程度に認識され、高架木道と植生保護期の大ループの利用者の混雑感がやや高いこと、ツアー非参加者の満足度がやや低い。利用者数や運用方法が変わる際には継続的にモニタリングが必要だろう。